

## 事業計画書目次

[ 港南 区]

3款 2項 1目

統合事務事業費

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和4年度		令和3年度		増△減(4-3)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
1	快適区役所推進事業	4,882	△ 2,405	5,679	△ 1,608	△ 797	△ 797	
2	総合案内充実事業	3,282	3,282	4,026	4,026	△ 744	△ 744	
3	わかりやすい情報提供事業	3,162	3,162	1,067	1,067	2,095	2,095	○
4	こうなん区政推進事業	5,610	5,610	1,415	1,415	4,195	4,195	○
5	港南区地球温暖化対策推進事業	3,290	3,290	3,180	3,180	110	110	○
6	みんなでつくるふるさと港南事業	1,780	1,780	1,210	1,210	570	570	○
7	歩行者サポート事業	6,000	6,000	6,000	6,000	0	0	
8	地域カステップアップ事業～自治会町内会活動支援、商店街振興、協働による地域づくりの推進～	8,614	8,614	6,939	6,939	1,675	1,675	○
9	ヨコハマ3R夢！推進事業	1,303	1,303	1,303	1,303	0	0	
10	うるおいのある美しい街づくり事業	4,162	4,162	4,212	4,212	△ 50	△ 50	
11	ひまわり交流事業	732	732	732	732	0	0	
12	安全安心まちづくり推進事業	7,009	7,009	6,969	6,969	40	40	
13	災害に強いまちづくり事業	12,826	12,826	15,056	15,056	△ 2,230	△ 2,230	○
14	通学路カラー舗装化事業	5,500	5,500	5,500	5,500	0	0	
15	交通安全施設等補修事業	3,000	3,000	3,000	3,000	0	0	
16	区民活動・生涯学習支援事業	1,930	1,930	1,630	1,630	300	300	○
17	地域文化推進事業	620	620	720	720	△ 100	△ 100	
18	地域スポーツ応援事業	2,650	2,650	2,150	2,150	500	500	○
19	青少年みらい応援事業	6,560	6,560	6,010	6,010	550	550	
20	地域で子育て応援事業	6,765	6,765	7,219	7,219	△ 454	△ 454	○
21	「切れ目のない」子育て支援事業	904	904	1,123	1,123	△ 219	△ 219	
22	地域福祉保健活動推進事業	3,444	3,444	4,744	4,744	△ 1,300	△ 1,300	
23	健康アクションこうなん5推進事業	7,767	7,767	7,743	7,743	24	24	
24	災害時も地域で見守り推進事業	1,500	1,500	2,028	2,028	△ 528	△ 528	○
25	安全で快適な生活推進事業	1,099	1,099	1,300	1,300	△ 201	△ 201	
26	高齢者元気応援事業	1,669	1,669	1,989	1,989	△ 320	△ 320	
27	障害者いきいき生活応援事業	1,530	1,530	1,530	1,530	0	0	
	港南公会堂竣工記念式典事業	0	0	3,000	3,000	△ 3,000	△ 3,000	
	計	107,590	100,303	107,474	100,187	116	116	

事業区課	港南区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	快適区役所推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,882	0	0	7,287		△ 2,405
令和3年度	5,679	0	0	7,287		△ 1,608
増△減	△ 797	0	0	0	0	△ 797

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
				令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	9,899	4,597	5,425	4,882	4,882	4,882
市債+一般財源	2,612	△ 2,690	△ 1,862	△ 2,405	△ 2,405	△ 2,405
決算	10,060	4,217	19,385			
市債+一般財源	2,926	△ 3,088	12,046			

事業概要	<p>お客様である区民の方が、区役所や区民利用施設での時間を快適に過ごしていただけるよう、庁舎環境等の整備・改善を実施します。お客様が安心して区役所や区民利用施設を利用できるよう、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとした「新しい生活様式」への対応や環境改善を行います。</p> <p>人権講演会を開催します。</p> <p>統計データを基にして、港南区の現状や移り変わり等をより深く知るための資料として「データブック港南」を作成します。</p>							
事業開始年度	平成16年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市庁舎管理規則							
運営方針等との関連	港南区運営方針 正確・丁寧な行政サービスの提供							
事業目的・効果(必要性)	<p>区庁舎や区民利用施設において、部分的な改修や修繕を実施することにより、効果的にお客様環境の改善を図ります。また、区民にとって安心して利用できる区役所となるよう、新型コロナウイルス感染症対策を始めとした「新しい生活様式」に適応した改善を行います。費用対効果を考慮しながら、迅速に対応していくことが必要です。</p> <p>区民の人権意識の高揚のため、身近な市民啓発の場として、区役所主催の人権啓発講演会を開催します。</p> <p>区民にとって、利用しやすい形で統計データを提供することで、区民の生活・経済の健全な発展及び向上を図ります。</p>							
根拠・データ等	令和元年度港南区区民意識調査、広聴情報データシステム、窓口サービス満足度調査、窓口外部評価							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
区庁舎・区民利用施設環境改善数	単位	目標	10	10	10	10	10	10
	件	実績	9	33				
人権講演会開催数	単位	目標	1	1	1	1	1	1
	回	実績	1	1				
データブック港南配布数	単位	目標	900	850	850	850	850	850
	冊	実績	716	729				
事業スケジュール	<p>お客様環境の改善・新しい生活様式への対応（通年で要望を収集し、環境改善を実施）</p> <p>令和4年3月下旬に、関係各所に「データブック港南」を配布します。</p>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	お客様環境の改善	2,812	2,812	0	
	②	新しい生活様式への対応	1,274	2,071	▲ 797	委託内容の見直しによる減
	③	人権講演会	296	296	0	
	④	「データブック港南」発行	500	500	0	
細事業合計			4,882	5,679	▲ 797	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	山下 隆幸	係長	笹生 健太	予算調整	森 ゆかり

事業区課	港南 区	区政推進 課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費						
歳出予算科目	一般 会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	総合案内充実事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,282					3,282
令和3年度	4,026					4,026
増△減	△ 744	0	0	0	0	△ 744

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	2,904	3,562	3,777	3,594	3,594	3,594
市債＋一般財源	2,904	3,562	3,777	3,594	3,594	3,594
決 算 事業費	3,076	3,368	3,710			
市債＋一般財源	3,076	3,368	3,710			

事業概要	総合案内窓口に接遇経験豊富なスタッフを配置し、的確で迅速、親切で丁寧な案内を行います。また、気付いた点などを情報共有し、区役所全体の接遇・サービス向上を図ります。							
事業開始年度	平成16年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	港南区運営方針 正確・丁寧な行政サービスの提供							
事業目的・効果 (必要性)	区役所での手続きは頻度も少ないため馴染みがなく、また、区役所業務以外の手続きや相談での来庁者も多く分かりにくい場合も多いことから、親切で丁寧な対応が求められるため、区役所総合案内窓口で接遇経験豊富な、民間の専門スタッフを配置することで、区民目線に立った的確で迅速、親切丁寧な対応を行い、来庁者のニーズを満たします。							
根拠・データ等	総合案内での案内件数のカウント（令和2年度実績） 配置日数：開庁日（平日＋土曜開庁日） 配置人数：平日1人、土曜日2人 配置場所：港南区総合庁舎内1階総合案内窓口 配置時間：平日 8時40分から17時00分まで 土曜日 8時40分から12時00分まで 案内件数：61,205件/年							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
案内件数	単位	目標	66,330	67,000	67,000	67,000	67,000	67,000
	件	実績	67,003	61,205				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	通年							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	総合案内充実事業	3,282	4,026	▲ 744	令和3年度実績による委託料の減
	細事業合計	3,282	4,026	▲ 744		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談
	高岡 昭人	水井 絵美	酒井 孝徳 係

事業区課	港南区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	広聴広報相談費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	わかりやすい情報提供事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,162					3,162
令和3年度	1,067					1,067
増△減	2,095	0	0	0	0	2,095

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	3,955	290	3,067	1,562	3,162	1,562
市債＋一般財源	3,955	290	3,067	1,562	3,162	1,562
決 算 事業費	3,883	723	2,844			
市債＋一般財源	3,883	723	2,844			

事業概要	(1)的確な情報提供サービスの実施 (2)区ウェブサイトの管理 (3)広聴（市民からの提案及び情報公開請求の受付）								
事業開始年度	平成10年度								
根拠法令・方針決裁等	横浜市の保有する情報の公開に関する条例、横浜市個人情報の保護に関する条例、「市民の声事業」の実施に関する取扱要綱、行政情報ネットワークの活用に応じた基本方針								
運営方針等との関連	港南区運営方針 正確・丁寧な行政サービスの提供								
事業目的・効果 (必要性)	(1)多岐に渡る問合せに的確に対応するため、多様な情報提供ツールを用意します。 (2)インターネットの普及により、必要な情報の的確な管理します。 (3)多様化かつ複雑化する地域の課題に対し、区民からの要望・提案に的確に応えていきます。								
根拠・データ等	区民生活・防災マップの発行及び配布（隔年20,000部）、手続き・届出チェックシート（8種類、各約1,000枚/年）、情報コーナーでの広報印刷物の受け入れ、配布（年間約3,000種類/年）、地域情報紙掲載による区政・イベント情報の発信								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
区民生活・防災マップ	単位	目標	0	20,000	0	20,000	0	20,000	0
	部	実績	0	25,000					
地域情報紙	単位	目標	0	4	3	3	3	3	3
	回	実績	1	4					
手続き・届出 チェックシート 作成	単位	目標	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
	枚	実績	8,000	8,000					
事業スケジュール	区民生活・防災マップ作成（隔年、3月発行）及び通年								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	区民生活・防災マップ発行・配布	1,600	0	1,600	区民生活・防災マップの隔年発行による増
	②	地域情報紙掲載	1,272	777	495	事業統合による広告料の増
	③	各種情報提供	290	290	0	
細事業合計			3,162	1,067	2,095	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	高岡 昭人	水井 絵美	酒井 孝徳

事業区課	港南区	区政推進課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	こうなん区政推進事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	5,610	0	0	0		5,610
令和3年度	1,415	0	0	0		1,415
増△減	4,195	0	0	0	0	4,195

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	2,740	5,010	1,515	2,410	2,410	5,610
算 市債+一般財源	2,740	5,010	1,515	2,410	2,410	5,610
決 事業費	1,937	5,163	1,963			
算 市債+一般財源	1,937	5,163	1,963			

事業概要	区政の基本目標や目標達成に向けた取組を区運営方針として策定し、各施策の実施状況について進捗管理を行います。区民ニーズや地域課題を的確に把握し、施策・事業に活用できるよう、区民意識調査を実施します。区民との協働による地域づくりを推進するため、区民、自治会・町内会、団体、関係部署等との連絡調整を行います。オンラインを活用した取組など、デジタル社会に対応した施策を推進します。							
------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業開始年度	平成7年度							
--------	-------	--	--	--	--	--	--	--

根拠法令・方針決裁等	区における総合行政の推進に関する規則							
------------	--------------------	--	--	--	--	--	--	--

運営方針等との関連	港南区運営方針 目標達成に向けた組織運営「地域に寄り添った組織運営！」							
-----------	-------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

事業目的・効果 (必要性)	<p>区政運営の推進には、次のことが必要です。</p> <p>(1) 区運営方針に掲げる目標達成に向けた取組を進めること。</p> <p>(2) 区民意識調査等から区民ニーズや地域課題を的確に把握し、その解決に向けて関係部署と調整すること。</p> <p>(3) 区民、団体、企業等との協働による地域づくりを推進すること。</p> <p>(4) デジタル社会に対応した施策を推進し、事業効果を高め区民の利便性や満足度を向上させること。</p>							
------------------	---	--	--	--	--	--	--	--

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績推移・見込み (区運営方針の地域・団体等への説明) 令和3年度(15地区、13団体)、令和4年度(15地区、13団体)、令和5年度(15地区、13団体)、令和6年度(15地区、13団体)、令和7年度(15地区、13団体) (区民意識調査調査票送付人数) 令和4年度(4,000人)、令和7年度(4,000人)</li> <li>令和元年度港南区区民意識調査(令和2年1月)</li> </ul>							
---------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
区運営方針の 地域・団体へ の説明	単位	目標	28	28	28	28	28	28	28
	件	実績	28	28					
区民意識調査 回収率	単位	目標	50	—	—	50	—	—	50
	%	実績	54.0	—					
	単位	目標							
	件	実績							

事業スケジュール	<p>平成7年度：事業開始</p> <p>令和元年度：令和元年度区民意識調査実施</p> <p>令和4年度：令和4年度区民意識調査実施</p>							
----------	---	--	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	区運営方針策定・推進	240	240	0	
②	区民意識調査	3,200	0	3,200	3年ごとの実施	
③	団体や事業者・関係部署等との連絡調整	1,170	1,175	▲5	令和2年度実績による減	
④	デジタル化推進	1,000	0	1,000	新規事業による増	
細事業合計		5,610	1,415	4,195		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区政推進課企画調整係
	高岡 昭人	長岡 将史	木村 優友

事業区課	港南区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	港南区地球温暖化対策推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,290	0	0	0		3,290
令和3年度	3,180	0	0	0		3,180
増△減	110	0	0	0	0	110

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,820	2,870	2,660	3,290	3,290	3,290
	市債+一般財源	2,820	2,870	2,660	3,290	3,290	3,290
決算	事業費	3,716	2,220	3,326			
	市債+一般財源	3,716	2,220	3,326			

事業概要	<p>区民や事業者等と取組目標を共有し、協働して地球温暖化対策に取り組みます。</p> <p>&lt;予定している主な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一斉消灯イベントや家庭での省エネの取組の啓発</li> <li>区民利用施設のLED化</li> <li>温暖化やSDGs等についての広報や環境学習講座等による啓発</li> <li>廃食用油回収</li> <li>緑のカーテンの普及</li> <li>港南区産野菜の直売会</li> </ul>							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例、横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例、横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例 等							
運営方針等との関連	港南区運営方針 施策4「住み続けたいまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	区民や事業者等と連携し、地球温暖化の原因である二酸化炭素排出量の削減や節電・省エネに取り組みます。							
根拠・データ等	<p>市域での気候変動は既に起こっており、気象庁の横浜地方気象台で観測された年平均気温は、過去100年間あたりで約1.8℃上昇しています。神奈川県内の平均気温は、十分な対策を取らない場合、現在から将来の約100年間に概ね3℃程度上昇し、真夏日は年間約40日程度増加して約70日程度になると予測されています。</p> <p>また、港南区の緑被率は年々低下しており、令和元年度時点では18区中5番目に低い区となっています。緑被率の減少や都市化に伴う地表面の人工化などにより、ヒートアイランド現象が起こっています。</p> <p>これらに対し、温暖化の原因である二酸化炭素排出量を減少させる取組を行います。あわせて、市民活動団体や地域コミュニティ組織、事業者等との協働により、区民の環境意識の高揚を図るとともに、省エネの取組を推進します。</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
緑のカーテン	単位	目標	20	20	20	20	20	20
	施設	実績	30	21				
区民利用施設の照明LED化	単位	目標	3	3	3	3	3	3
	施設	実績	3	3				
直売会の開催回数	単位	目標	10	10	10	10	10	10
	施設	実績	14	4				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>港南区地球温暖化防止・ヨコハマ3R夢推進本部総会開催（5月予定）</li> <li>区内保育園、小学校及び商店街での緑のカーテン（5～8月予定）</li> <li>区内での一斉消灯イベント（6～7月予定）</li> <li>イベント等での廃食用油回収（6月、7月、11月、2月予定）</li> <li>港南区産野菜の直売会（7～8月・11～12月予定）</li> <li>区内での打ち水イベント（7～8月予定）</li> <li>広報よこはま及び港南区図書館等での啓発（12月予定）</li> <li>家庭での省エネの取組の啓発（12～1月予定）</li> <li>温暖化やSDGs等についての小学生向け環境学習講座（12～1月予定）</li> <li>区民利用施設LED化（通年）</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 推進本部運営	70	90	▲ 20	地域振興課との共有による減
	② 省エネ、節電推進	1,900	1,800	100	一斉消灯の実施による増
	③ 普及啓発	710	520	190	啓発パネル製作による増
	④ 緑化推進	550	650	▲ 100	既存物品活用による減
	⑤ 地産地消の推進	60	120	▲ 60	令和2年度実績による減
細事業合計		3,290	3,180	110	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	高岡 昭人	長岡 将史	秋山 隼人

事業区課	港南区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	みんなでつくるふるさと港南事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,780	0	0	0		1,780
令和3年度	1,210	0	0	0		1,210
増△減	570	0	0	0	0	570

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	1,320	1,765	1,915	1,780	1,780	1,780
算 市債+一般財源	1,320	1,765	1,915	1,780	1,780	1,780
決 事業費	1,220	1,408	2,001			
算 市債+一般財源	1,220	1,408	2,001			

**事業概要**  
 港南区の魅力を発見・発信し、地域への愛着を高めるため、「まちの魅力発信」として、こどもによるまちの魅力発見及びまち自慢ガイドブック・港南区デジタル観光マップを活用します。「ライフイベントに合わせた身近な区役所づくり」として、オリジナルデザインの婚姻届受理証明書及び記念撮影用デジタルフォトフレームを作成します。「ひまわりを活用した区の活力アップ」として、こんにちは！こうなんbaby誕生プレゼント及び区内公有地でのひまわり植樹を実施します。

**事業開始年度** 平成23年度

**根拠法令・方針決裁等**

**運営方針等との関連** 港南区運営方針 施策4「住み続けたいまちづくり」

**事業目的・効果(必要性)**  
 ・港南区の様々な魅力を発見・発信していくことにより港南区に対する関心と愛着を高め、地域の活性化を図るとともに、約8割という高い定住意向を維持し続ける必要があります。(令和元年度区民意識調査：「住み続けたい」「やや住み続けたい」の合計81%)  
 ・令和元年度区民意識調査の「関心がある・充実させてほしい情報」に対する、10歳～20歳代の「特にない」の回答が25%と、他の世代に比べて最も高く、地域情報への関心が低くなっています。若い世代を対象とした地域への関心を高める取組が必要です。

**根拠・データ等**  
 ・実績推移・見込み  
 1 まちの魅力発信  
 子どもによるまちの魅力発見の、区内施設や港南区デジタル観光マップ、区ウェブサイトへの掲載  
 2 ひまわりを活用した区の活力アップ  
 ・「こんにちは！こうなんbaby誕生プレゼント」ミニタオル配布実績  
 平成30年度(1,341枚)、令和元年度(1,550枚)、令和2年度(1,276枚)、令和3・4年度見込み(各1,300枚)  
 ・区内公有地でのひまわり植樹実績  
 上永谷駅前の花壇にて、小学生が地域の方々とひまわりを植樹。  
 ・令和元年度港南区区民意識調査(令和2年1月)

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
区民意識調査 定住意向	単位	目標	80	—	—	80	—	—	80
	%	実績	81	—	—	—	—	—	—
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

**事業スケジュール**  
 平成23年度：事業開始  
 平成23年度：ひまわりを活用した区の活力アップ事業開始  
 平成30年度：まちの魅力発信事業開始  
 令和4年度：ライフイベントに合わせた身近な区役所づくり事業開始

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	まちの魅力発信事業	670	770	▲100
②	ライフイベントに合わせた身近な区役所づくり	480	0	480	新規事業による増
③	ひまわりを活用した区の活力アップ	630	440	190	3年度実績に基づく増
細事業合計		1,780	1,210	570	

本資料は、公正・適正に作成しました。

課長	係長	企画調整
高岡 昭人	長岡 将史	塩田 かほる

事業区課	港南区	土木事務所 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	歩行者サポート事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	6,000	0	0	0		6,000
令和3年度	6,000	0	0	0		6,000
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	3,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
算 市債+一般財源	3,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
決 事業費	3,278	5,980	6,000			
算 市債+一般財源	3,278	5,980	6,000			

事業概要	超高齢社会に対応するため、高齢者が日常生活や災害時の避難通路として公道を安全で安心して歩きやすいと実感できる整備を行います。具体的には、階段への手すりの設置や補修などを行います。							
事業開始年度	平成28年度							
根拠法令・方針決裁等	福祉のまちづくり条例							
運営方針等との関連	港南区運営方針 目標達成に向けた施策 施策4 住み続けたいまちづくり							
事業目的・効果(必要性)	港南区の特徴として起伏のある地形のため階段が多く、高齢者（65歳以上）の割合が31%と18区中5番目で、上位に位置していません（市平均は27%）。そのため、高齢者が歩きやすいと感じる道路の工夫が必要です。港南区は高齢者の数が多いため、高齢者が歩きやすいと感じる道路の工夫が必要です。そこで、公道の階段に手すりを設置、または現在ある手すりの補修などを行うことで、高齢者の安全と安心を確保します。そうすることで外出意欲がより高まり、健康づくりにもつなげます。							
根拠・データ等	市・区の年齢別の人口（推計人口による、1月1日現在） 令和2（2020）年 年齢別人口 政策局総務部統計情報課							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
手すり設置	単位	目標	80	120	170	150	150	150
	m	実績	61.0	107.0				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	第1期：平成28年度から平成30年度までの3か年計画（14箇所 515m実施） 第2期：令和元年度から令和3年度までの3か年計画（17箇所 350m予定、令和3年度7箇所予定） 令和4年度：個別対応（令和4年度 5箇所予定） 令和5年度以降：手すりの設置陳情に対しては、利用状況をふまえて計画的な設置を検討してまいります。予算規模については、既存施設の老朽化をふまえて予定箇所数を決定してまいります。							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 手すり等設置・補修事業	6,000	6,000	0	
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		6,000	6,000	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	道路
	麻生 裕昌	森田 彰	上村 秀男



事業区課	港南区	地域振興・区政推進 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	地域力ステップアップ事業 ～自治会町内会活動支援、 商店街振興、協働による地域づくりの推進～					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	8,614	0	0	0		8,614
令和3年度	6,939	0	0	0		6,939
増△減	1,675	0	0	0	0	1,675

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算 事業費	3,036	3,054	3,539	8,614	8,614	8,614
市債＋一般財源	3,036	3,054	3,539	8,614	8,614	8,614
決算 事業費	2,896	1,806	3,473			
市債＋一般財源	2,896	1,806	3,473			

事業概要	<p>「安全で誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、地域活動が活性化するように、自治会町内会及び商店街をサポートし、地域力の向上を図ります。新任自治会町内会長向け講習会や、会長感謝会を開催します。また、地域、事業者、行政等の協働による地域づくりの推進を支援します。</p> <p>1 自治会町内会運営のサポート 補助金申請手続きに関することや自治会町内会の運営に関する事など、自治会町内会活動を行う上での様々な課題に対応できるようサポートします。</p> <p>(1) 新任自治会町内会長・役員を対象とした講習会の開催 (2) 地域活動推進費・地域防犯灯維持管理費補助金等説明会・個別相談会の開催 (3) 自治会町内会区域図更新</p> <p>2 自治会町内会のICT活用支援 ICTを活用する若い世代が活動に参加をしやすくするために、自治会町内会活動にICTを活用できる環境づくりをサポートします。</p> <p>(1) ICTの活用検討支援（ICTツールの活用検討等の調査） (2) 機器導入等にかかる支援（機器導入等にかかる費用の補助）</p> <p>3 自治会町内会長感謝会、自治会町内会役員表彰式（区長表彰） 自治会町内会長の日頃の御苦労に対して感謝の意を表する感謝会の実施と併せて、長年、地域活動を行ってこられた自治会町内会役員の御労苦に感謝の意を表するため、役員表彰式を実施します。</p> <p>4 広報物等仕分運搬 自治会町内会に配布するチラシ・ポスター等の仕分け・配送を一括して委託することで、配布時期の統一や経費の節減を図ります。</p> <p>5 商店街振興 元気な地域づくりを推進するためにも、商店街（会）活性化の支援をしていく必要があります。商店街が開催するイベントを広報することにより商店街の認知度を高めるほか、登下校時の小学生の見守り活動を推進する港南ひまわり83運動と連携して、商店街と地域の接点を増やし、活性化につながるよう支援します。</p> <p>(1) ひまわりを活用した商店街振興 (2) 商店街イベント広報 (3) 商店街と連携した港南ひまわり83運動の推進</p> <p>6 協働による地域づくりを進める取組 委員間連携を深める協働による地域づくり推進協議会の開催、各地区の取り組みや情報を共有する元気な地域づくりフォーラム、港南区協働による地域づくりのあゆみ（仮）の発行を通して、区全体で協働による地域づくりを進めます。</p> <p>(1) 協働による地域づくり推進協議会 (2) 元気な地域づくりフォーラム (3) 港南区協働による地域づくりのあゆみ（仮）</p> <p>7 地域の課題解決にかかる取組 連合と地区社協が連携していることを前提とした地域活動で、地域の課題解決に関わるものについて、補助金を交付します。</p> <p>8 地域の人材育成にかかる取組 定年退職後の方を対象に、地域活動を始めるきっかけとなる講座等を港南区社会福祉協議会、地域ケアプラザと連携して実施します。</p>
事業開始年度	平成6年度

根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例</li> <li>港南区自治会町内会役員等表彰要綱</li> <li>港南区自治会町内会長永年在職者表彰要綱</li> <li>横浜市自治会町内会長永年在職者表彰要綱</li> <li>自治会町内会に対する依頼業務の取扱について（依命通達）</li> <li>横浜市商店街の活性化に関する条例</li> <li>横浜市民協働条例</li> </ul>
------------	---

運営方針等との関連	<p>港南区運営方針</p> <p>I 基本目標： 地域の皆さまと協働でつくる「安全で誰もが安心して元気に暮らせるまち」</p> <p>II 目標達成に向けた施策： 地域の皆さまと協働で進める地域づくり</p>
-----------	---

事業目的・効果（必要性）	<p>自治会町内会への加入率は減少傾向にあり（28年度77.5%、29年度77.3%、30年度76.4%、元年度75.4%、2年度74.4%）、また、新たに就任する会長が多い・役員の成り手不足など、自治会町内会の円滑な運営や活動を行う上での課題があります。</p> <p>これらの自治会町内会の課題解消に向けて、自治会町内会の活動を円滑に進めることができるように、新任自治会町内会長等講習会や補助金説明会を開催し、支援するほか、地域と行政が協働で加入促進に取り組んでいくことが重要です。さらに、自治会町内会役員の負担軽減や、ICTを活用する若い世代が活動に参加をしやすくするために、自治会町内会活動にICTを活用できる環境づくりをサポートすることが重要です。</p> <p>また、自治会町内会の会長及び役員の方々が、地域住民と行政とのパイプ役や協働の推進役として活動されています。そうした活動の労苦に対して感謝の意を表する必要があります。</p> <p>区内の小売店を中心に結成されている商店街（会）は、元気な地域づくりを推進するためにも、商店街（会）活性化の支援をしていく必要があります。商店街が開催するイベントを広報することにより商店街の認知度を高めるほか、登下校時の小学生の見守り活動を推進する港南ひまわり83運動と連携して、商店街と地域の接点を増やし、活性化につながるよう支援していく必要があります。</p>
--------------	--

協働による地域づくりをさらに推進するため、港南区制50周年で生まれた事業者とのつながりを今後も継続し、事業者や関係団体と協働をしていく必要があります。  
地域の人材育成の取組について、ともに歩んできた地域活動者とともに振り返り、活動者同士の連携を深めるとともに、今後の展望について地域の現場の声を聞き検討する場が必要と考えます。

根拠・データ等	横浜市自治会町内会加入世帯数及び加入率の推移・区別自治会町内会加入率（令和2年度）、横浜市自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書(令和2年度)
---------	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
新任自治会町内会長等講習会参加者数	単位	目標	34	34	27	27	27	27	27
	名	実績	34	新型コロナウイルス感染症のため中止					
自治会町内会役員表彰者数	単位	目標	25	25	25	25	25	25	25
	名	実績	25	25					
自治会町内会長永年在職者表彰者数	単位	目標	22	9	9	9	9	9	9
	名	実績	22	9					
ICTツール活用検討コンサルティング申請団体数	単位	目標	-	-	12	15	15	5	5
	団体数	実績	-	-					
ICT機器導入補助金申請団体数	単位	目標	-	-	12	20	20	0	0
	団体数	実績	-	-					
ひまわりの花絵画コンクール応募点数	単位	目標	527	509	550	550	550	550	550
	枚	実績	527	509					
(1)協働による地域づくり推進協議会	単位	目標	-	4	4	4	4	4	4
	回数	実績	-	2					
地域力アップ補助金交付団体数	単位	目標	-	-	7	6	6	6	6
	団体数	実績	-	-					
セカンドライフ大学校講座開催数	単位	目標	-	-	5	5	5	5	5
	回数	実績	-	-					

事業スケジュール	<p>平成6年度～：事業開始          平成7年度～：自治会町内会長永年在職者表彰の開始          平成20年度～：新任自治会町内会長等講習会、自治会町内会役員表彰の実施          平成25年度～：自治会町内会補助金説明会・個別相談会の実施          平成29年度～：商店街振興の事業開始          令和2年度～：協働による地域づくり推進協議会の開始          令和3年度～：自治会町内会のICT活用支援の開始          商店街と連携した港南ひまわり83運動の推進の開始          地域の課題解決にかかる取組の開始          令和4年度～：元気な地域づくりフォーラムの開始          港南区協働による地域づくりのあゆみの実施          地域の人材育成にかかる取組の開始</p>
----------	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	自治会町内会運営のサポート		160	160	0
②	自治会町内会のICT活用支援		3,350	2,280	1,070	事業規模拡充による増
③	自治会町内会長感謝会、自治会町内会役員表彰式(区長表彰)		1,574	1,574	0	
④	広報物等仕分運搬		561	561	0	
⑤	商店街振興		850	850	0	
⑥	協働による地域づくりを進める取組		1,144	674	470	新規事業追加による増
⑦	地域の課題解決にかかる取組		720	840	▲120	区配事業との合同による減
⑧	地域の人材育成にかかる取組		255	0	255	新規事業による増
	細事業合計		8,614	6,939	1,675	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域運営推進 地域力推進担当
	松田 博之 岩元 隆道	渡邊 格二郎 草野 誠子	中島 皓平、山崎 修 松本 廉平

事業区課	港南区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	ヨコハマ3R夢！推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,303					1,303
令和3年度	1,303					1,303
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,556	1,130	1,318	1,303	1,303	1,303
	市債+一般財源	1,556	1,130	1,318	1,303	1,303	1,303
決算	事業費	1,483	1,090	1,575			
	市債+一般財源	1,483	1,090	1,575			

事業概要	<p>横浜市一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ3R夢プラン）に基づき、区内で排出されるごみの資源と総量の削減目標を設定し、達成する取り組みを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨコハマ3R夢推進本部総会（前年度実績報告と本年度の目標などの事業予定を決定）を開催します。</li> <li>・街の美化活動及び3R夢プランの推進に功労があった個人・団体を表彰します。</li> <li>・地域イベントでのブース出展、保育園や小中学校への出前教室、百貨店、スーパー店頭等での啓発を行います。</li> <li>・小中学生を対象とした3R夢動画コンテストを開催します。</li> <li>・食品ロス削減の取組み（フードドライブの取組みを港南事務所、区社協、民間企業等と連携して実施します。</li> <li>・食品ロス削減啓発のための講演会（対面および動画配信形式）を実施します。</li> <li>・プラスチック削減啓発のための講演会（対面および動画配信形式）を実施します。</li> <li>・マイクロプラスチック問題の周知、ペットボトルとレジ袋の削減を目的として、マイボトルとマイバックの使用を広報および店頭啓発等で推奨します。</li> <li>・生活用品等のリユースを促すため、消費生活推進員と協力し、リユース掲示板を運営します。</li> </ul>
事業開始年度	平成8年度

根拠法令・方針決裁等	横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例、港南区地球温暖化対策・ヨコハマ3R夢推進本部設置要綱、横浜市一般廃棄物処理基本計画等
運営方針等との関連	港南区運営方針 施策4 住み続けたいまちづくり

事業目的・効果(必要性)	ヨコハマ3R夢プラン推進計画に基づいた、ごみの減量化・3R夢の推進のため、分別・リサイクルはもちろんのこと、環境に最もやさしい「リデュース（発生抑制）」の取組を進めることで、環境負荷の低減及び脱炭素化社会に繋がります。豊かな環境を後世に引き継ぐために、更なる3Rの推進が必要となっています。
--------------	---

根拠・データ等	<p>港南区のごみと資源の総量データ</p> <p>令和元年 燃やすごみ (31,874t)、資源物 (15,482t)、総量 (47,356t)</p> <p>令和2年 燃やすごみ (32,547t)、資源物 (15,561t)、総量 (48,108t)</p>
---------	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
港南区ごみと資源の総量(年間)	単位	目標	46,827	45,592	数量目標なし	45,592	45,592	45,592	45,592
	トン	実績	47,356	48,108					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	<p>平成8年度 まちのクリーンアップ事業開始</p> <p>平成10年度 こうなん街の美化・3R夢プラン推進功労者区長表彰要綱施行</p> <p>平成18年度 リユース掲示板事業開始</p> <p>平成23年度 港南区地球温暖化対策・ヨコハマ3R夢推進本部設置要綱施行</p> <p>令和2年度 フードドライブ常設受取窓口の開設</p> <p>令和3年度 港南区3R夢動画コンテスト開始</p>
----------	--

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ヨコハマ3R夢推進事業	88	88	0	
②	ヨコハマ3R夢推進表彰式	135	135	0		
③	ヨコハマ3R夢啓発	820	820	0		
④	食品ロス削減への取組み	140	120	20	講演会講師謝金の増	
⑤	プラスチック対策への取組み	110	110	0		
⑥	リユース情報掲示板	10	30	▲20	3年度実績に伴う消耗品費の減	
細事業合計			1,303	1,303	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進担当
	近藤 淳史	岩崎 洋	根田智 係

事業区課	港南区	地域振興 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	うるおいのある美しい街づくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,162					4,162
令和3年度	4,212					4,212
増△減	△ 50	0	0	0	0	△ 50

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	4,998	3,945	4,212	4,212	4,212	4,212
市債+一般財源	4,998	3,945	4,212	4,212	4,212	4,212
決 算 事業費	4,639	3,944	4,753			
市債+一般財源	4,639	3,944	4,753			

事業概要	<p>散乱ごみや不法投棄が無く、花いっぱい美しい街をつくるため、区民・地域団体が一体となって、種々の事業に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で行っている川のクリーンアップ団体の河川内や沿道の清掃活動支援を行います。</li> <li>・公共性の高い場所に花植えやその維持管理を行う団体に対して活動補助金を交付します。</li> <li>・各地区で実施している町内清掃等地域主体で行われている美化活動に対して補助金を交付します。</li> <li>・地域の作業所等に駅周辺の清掃作業を委託し、美化環境の改善を図ります。</li> <li>・ポイ捨て防止啓発を区内の駅周辺で行います。</li> </ul>							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市廃棄物等の減量化・資源化及び適正処理等に関する条例、横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止に関する条例、こうなん地域美化活動補助金交付要綱、港南区フラワーサポーター活動補助金交付要綱 等							
運営方針等との関連	港南区運営方針 施策4 住み続けたいまちづくり							
事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場でのポイ捨てがなくなる実情があり、清掃委託と合わせてポイ捨て防止の啓発活動にもさらに力を入れていくことが必要となります。</li> <li>・地域主体の美化活動である川のクリーンアップ、フラワーサポーターの花植え、各地区連合の清掃活動等の活発的な活動が、今後も継続的に行われることを目的として、行政としての後方支援が必要となります。</li> </ul>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度港南区区民意識調査集計結果（地域活動・災害対策の主な項目で意識・関心の高いこと（上位5項目））「身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動」の順位</li> </ul> <p>今後参加してみたい地域活動          &lt;上大岡地域&gt; 4位、&lt;大久保最戸地域&gt; 4位、&lt;笹下地域&gt; 2位、&lt;日野第一地域&gt; 3位、&lt;下永谷地域&gt; 2位          今後、重要度が高いと考える活動          &lt;上大岡地域&gt; 5位、&lt;大久保最戸地域&gt; 4位、&lt;笹下地域&gt; 4位、&lt;日野第一地域&gt; 3位、&lt;下永谷地域&gt; 4位</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
川のクリーンアップ参加者	単位	目標	2500	2500	2500	2500	2500	2500
	人	実績	2754	615				
駅前清掃委託 収分量	単位	目標	370	370	370	261	261	261
	kg	実績	290	212				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	平成18年度 川のクリーンアップ開始 平成19年度 フラワーサポーター事業開始 平成12年度 美化活動支援事業開始 平成20年度 駅前清掃委託事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引 (増減)	増減説明
	① 川のクリーンアップ事業	772	822	▲ 50	物品購入予定減による減
	② フラワーサポーター事業	460	460	0	
	③ 美化活動支援事業	920	920	0	
	④ 駅周辺清掃委託事業	2,010	2,010	0	
	細事業合計	4,162	4,212	▲ 50	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進担当
	近藤 淳史	岩崎 洋	係 根田 智

事業区課	港南区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	ひまわり交流事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	732					732
令和3年度	732					732
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算 事業費	755	955	732	955	732	955
市債+一般財源	755	955	732	955	732	955
決算 事業費	909	935	710			
市債+一般財源	909	935	710			

事業概要	相互のシンボルであるひまわりの普及、ひまわり生活体験交流の実施、大崎市三本木ひまわり交流協会と協力して「こうなん子どもゆめワールド」でブース出店、区役所1階ホールパネル展実施等を通して交流し、大崎市や交流についてPRします。						
事業開始年度	平成18年度						
根拠法令・方針決裁等	港南区ひまわり交流推進事業補助金交付要綱						
運営方針等との関連	港南区運営方針「施策2 見守り・支えあいのまちづくり」						

事業目的・効果 (必要性)	令和元年度の区民意識調査では、「港南区に住み続けたい」と答えた人が8割を超えています。住み続けたいまちづくりや青少年が健やかに育つまちづくりには、地域の皆さんの港南区への愛着を高めること、「ふるさと意識の醸成」や地域の活性化を図ることが大切です。青少年の健全育成やふるさと意識の醸成、地域の活性化を図るため、ひまわり生活体験交流事業、ひまわりの花普及事業など、宮城県大崎市との相互交流を展開している「ひまわり交流協会」及びその活動を支援します。						
------------------	--	--	--	--	--	--	--

根拠・データ等	港南区民意識調査						
---------	----------	--	--	--	--	--	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ひまわりの種配布数	単位	目標	600	600	600	600	600	600	600
	袋	実績	600	600					
生活体験交流参加児童数 (R2、3は代替企画)	単位	目標	40	33	11	40	40	40	40
	人	実績	44	33					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	ひまわりの種配布 4月 生活体験交流 募集5月、実施8月 ゆめワールド出店 11月 パネル展 3月
----------	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	ひまわり交流事業	732	732	0	
	細事業合計		732	732	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	青少年育成担当	係
	松田 博之	三枝木 武	浅井 美保	

事業区課	港南区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	安全安心まちづくり推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	7,009					7,009
令和3年度	6,969					6,969
増△減	40	0	0	0	0	40

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	7,432	8,575	7,581	7,059	7,059	7,059
市債+一般財源	7,432	8,575	7,581	7,059	7,059	7,059
決算	7,056	8,254	7,025			
市債+一般財源	7,056	8,254	7,025			

事業概要	<p>地域や各種団体、関係行政機関が連携して、防犯・交通安全等の様々な啓発・キャンペーンを実施し、意識啓発を行うとともに、地域の自主的な活動を支援し、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。</p> <p>【安全安心まちづくり推進協議会】 交通安全、防犯、防火、防災等を進めるため、総合的な啓発活動を実施するとともに、構成団体が独自に実施している各種事業への支援及び連携強化を図ります。</p> <p>【地域防犯活動の推進】 地域で自主的に活動する防犯団体への支援と、子どもの見守り安全対策についての取組を行う。港南ひまわり83運動の啓発をすすめ、登下校の時間に合わせた見守りを推進する。</p> <p>【交通安全対策】 港南区交通安全シルバーリーダーの活動を支援し、高齢者への交通安全啓発を実施する。また、区内21の小学校にある「地域子どもの安全対策協議会」と連携して子どもの交通安全対策についての取組を行う。主要駅周辺において、歩行者の安全を確保するため放置自転車等の対策を行う。</p>							
事業開始年度	平成20年度							
根拠法令・方針決裁等	港南区地域防犯活動補助金交付要綱、港南区地域子どもの安全対策協議会活動補助金交付要綱、交通安全対策基本法等							
運営方針等との関連	港南区運営方針 I 基本目標：地域の皆さまと協働でつくる「安全で誰もが安心して元気に暮らせるまち」 II 目標達成に向けた施策：安全・安心のまちづくり							
事業目的・効果(必要性)	令和元年度の区民意識調査では、「港南区の望ましい将来像」として「治安が良いまち」が65%と最も多く、「重要度が高いと思う地域活動」として「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」が31%と最も多くなっております。こうした区民からの声を受け、地域活動への支援の充実を図るとともに、地域・各種団体・関係行政機関で構成される「安全安心まちづくり推進協議会」による安全で安心なまちづくりの取組を推進することが重要です。							
根拠・データ等	令和元年度港南区区民意識調査集計結果							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
総合的なキャンペーンの開催	単位	目標	2	2	2	2	2	2
	回	実績	1	1				
(1)地域防犯活動補助金の交付件数 (2)防犯寺子屋実施件数	単位	目標	(1)70以上 (2)50	(1)70以上 (2)50	(1)70以上 (2)50	(1)70以上 (2)50	(1)70以上 (2)50	(1)70以上 (2)50
	(1)団体 (2)件	実績	(1)89 (2)52	(1)88 (2)33				
(1)路面標示の新設・補修 (2)電柱巻標識の更新・新設	単位	目標	(1)60 (2)35	(1)60 (2)35	(1)60 (2)35	(1)60 (2)35	(1)60 (2)35	(1)60 (2)35
	箇所	実績	(1)60 (2)18	(1)60 (2)36				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度：事業開始</li> <li>平成21年度：防犯灯設置補助金事業を旧安全管理局に移管 消費生活推進員事業を旧一般事業より統合</li> <li>平成30年度：安全安心まちづくり推進協議会事業を区の直接執行に変更</li> <li>平成31年度：消費生活推進員事業を統合事業に移行</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 安全安心まちづくり推進協議会	540	670	▲ 130	表彰式の会場使用料の減
	② 地域防犯活動の推進	4,742	4,642	100	着ぐるみクリーニングによる増
	③ 交通安全対策	1,727	1,657	70	交通安全VRのレンタルによる増
	細事業合計	7,009	6,969	40	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域運営推進	係
	松田 博之	渡邊 格二郎	石崎 裕貴	

事業区課	港南区	総務課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	災害に強いまちづくり事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和4年度	12,826					12,826	
令和3年度	15,056					15,056	
増△減	△ 2,230	0	0	0	0	△ 2,230	

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	7,653	7,762	10,056	12,500	12,500	12,500
	市債+一般財源	7,653	7,762	10,056	12,500	12,500	12,500
決算	事業費	7,389	11,333	11,381			
	市債+一般財源	7,389	11,333	11,381			

事業概要	港南区の防災5箇条を活用し、幅広い世代に向けた自助、共助の啓発を推進することで、地域防災力の更なる強化を図ります。また、より迅速かつ的確な公助の体制強化のため災害対策本部機能の充実を図ります。さらに、今後も感染症対策に対応していきます。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	災害対策基本法、横浜市防災計画、港南区防災計画など							
運営方針等との関連	R03区政運営方針 施策「1 安全・安心のまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	<p>これまで行ってきた震災に対する取り組みに加え、昨今激化している局地的豪雨や台風等による風水害に関して、被害を最小限に抑えるため、区民に対して避難情報や避難場所の開設状況などの情報提供を確実かつ迅速に行う必要があります。これらについての的確に行うための災害対策本部の機能強化を進めます。また、災害発生時における避難場所内での感染症拡大防止対策として、必要な防護用品の充実や感染症対策を踏まえた避難場所運営を周知していくとともに、在宅避難の有効性とそのための備えについて広く市民に周知・啓発していきます。</p> <p>地域においては、各種啓発事業や協議会等を通して自助及び共助を推進し、地域防災力の向上を図り、地域防災拠点に対しては、避難所における暑さ対策や換気対策用品を継続して配備します。</p>							
根拠・データ等								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
暑さ・換気対策用品導入数	単位	目標	11	10	10	11	10	11
	拠点	実績	11	10				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年10台ずつ導入し、区内31拠点を3か年で1巡します。</li> <li>現時点では2巡目まで計画しているため、3巡目に入る令和7年度以降は導入可否について検討します</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
①	地域防災力の向上	10,776	9,356	1,420	・HUG(避難所運営ゲーム)購入による増 ・防災講演会オンライン開催委託による増
②	災害対策本部機能促進	1,650	3,850	▲ 2,200	システム経費を統合事業費に移管
③	感染症対策	400	1,850	▲ 1,450	3年度の執行状況に基づく減
細事業合計		12,826	15,056	▲ 2,230	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務
	山下 隆幸	武田 央介	柴田 龍二

事業区課	港南区	土木事務所 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	通学路カラー舗装化事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	5,500	0	0	0		5,500
令和3年度	5,500	0	0	0		5,500
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	2,000	2,000	5,500	5,500	5,500	5,500
算 市債+一般財源	2,000	2,000	5,500	5,500	5,500	5,500
決 事業費	1,988	2,900	5,500	5,500	5,500	5,500
算 市債+一般財源	1,988	2,900	5,500	5,500	5,500	5,500

事業概要	歩行スペースの確保や車両の速度を抑制させるため、路側帯のカラー舗装化による交通安全対策を実施します。							
事業開始年度	平成28年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	港南区運営方針 目標達成に向けた施策 施策4 住み続けたいまちづくり							
事業目的・効果 (必要性)	運転者の不注意やモラルの低下による、児童を巻き込んだ事故が各地で発生し、平成28年度には当区で児童の死亡事故が発生していることから、通学児童の安全安心を確保するため、歩道がない通学路等への安全対策を実施する必要があります。 路側帯のカラー舗装化を行うことで、車と児童との交通事故（人為的災害）を防災・減災します。							
根拠・データ等	港南区区民意識調査、広聴データシステム							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
カラー舗装	単位	目標	2500	2500	2500	2500	2500	2500
	m	実績	2487.0	1687.0				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	地域振興課、警察、小学校（24校）と連携し、毎年実施する。 6月～7月 地域子どもの安全対策協議会 8月～10月 実施箇所の選定、設計 11月～3月 カラー舗装化工事							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	通学路カラー舗装化事業	5,500	5,500	0	
	細事業合計	5,500	5,500	0		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	道路係
	麻生 裕昌	森田 彰	牧迫 大



事業区課	港南区	土木事務所 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	交通安全施設等補修事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,000	0	0	0		3,000
令和3年度	3,000	0	0	0		3,000
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	0	0	3,000	3,000	3,000	3,000
算 市債+一般財源	0	0	3,000	3,000	3,000	3,000
決 事業費	0	0	3,000			
算 市債+一般財源	0	0	3,000			

事業概要	ガードレール、車止め等の安全施設の補修や車両の速度を抑制させるため、路面標示の補修による交通安全対策を実施します。							
事業開始年度	令和2年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	港南区運営方針 目標達成に向けた施策 施策4 住み続けたいまちづくり							
事業目的・効果 (必要性)	運転者の不注意やモラルの低下による、児童を巻き込んだ事故が各地で発生し、平成28年度には当区で児童の死亡事故が発生していることから、通学児童の安全安心を確保するため、通学路等への安全対策を実施する必要があります。 交通安全施設等補修を行うことで、児童が安全・安心して進学できるようにします。							
根拠・データ等	港南区区民意識調査、広聴データシステム							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
交通安全施設等補修	単位	目標	0	10	10	10	10	10
	箇所	実績	0.0	5.0				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	地域振興課、警察、小学校（24校）と連携し、毎年実施する。 6月～7月 地域子どもの安全対策協議会 8月～10月 実施箇所の選定、設計 11月～3月 交通安全施設等補修工事							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	交通安全施設等補修事業	3,000	3,000	0	
	細事業合計	3,000	3,000	0		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	道路係
	麻生 裕昌	森田 彰	上村 秀男

事業区課	港南区	地域振興 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費	新規拡充			
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	区民活動・生涯学習事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,930	0	0	0		1,930
令和3年度	1,630	0	0	0		1,630
増△減	300	0	0	0	0	300

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	2,801	2,400	2,460	1,930	1,930	1,930
市債+一般財源	2,801	2,400	2,460	1,930	1,930	1,930
決 算 事業費	2,282	2,020	1,864			
市債+一般財源	2,282	2,020	1,864			

事業概要	<p>市民活動・地域活動や生涯学習の自主的な活動をサポートし、地域の担い手の育成や地域の一層の活性化に繋げるため、さまざまな講座や交流会を開催します。また、「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」及び「港南区読書活動推進目標」に基づき、読書に親しむ機会の創出や読書活動を推進します。</p> <p>1 区民企画運営講座等実施事業</p> <p>(1) 区民企画運営講座の実施</p> <p>(2) 区民企画運営講座交流会の実施</p> <p>(3) 人材養成講座の実施</p> <p>2 施設間連携事業</p> <p>(1) 各公共施設への書類配送</p> <p>(2) ネットワーク事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民活動支援センターとの協働事業実施</li> <li>・ケアプラザコーディネーター会議への参加</li> <li>・子育て連絡会への参加</li> </ul> <p>3 読書活動推進事業</p> <p>「港南区読書活動推進目標」に掲げる「つなぐ」「はぐくむ」「ひろめる」の実現を目指し、読書活動推進連絡会の開催、読書ノートの改訂、わらべうた講座や講演会等、読書に親しむ事業を実施します。</p>
事業開始年度	平成18年度
根拠法令・方針決裁等	横浜市民協働条例 市民活動支援センター事業展開ガイドライン 横浜生涯学習基本構想 横浜生涯学習推進指針 港南区民活動支援センター事業要綱 港南区「街のアドバイザー」事業要綱、港南区区民企画運営講座運営費補助金交付要綱 横浜市民の読書活動の推進に関する条例
運営方針等との関連	施策3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり

事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度の区民意識調査によると、地域コミュニティ（地域社会）に必要なこととして、「自分のできる範囲で気軽にボランティアとして参加できる仕組みづくり」や「地域活動に参加するきっかけとなる趣味やボランティア入門講座などの充実」が挙げられています。また、同調査では、「地域の情報を得たり発信できたりする仕組み」も求められています。</li> <li>・子育て中の母親が、区の事業や地域活動に参加できるようにするために、一時託児が活用されており、高いニーズがあります。</li> <li>・団体・グループは、活動のPRなど情報を発信できる手段や運営の支援、他の団体との交流を求めています。</li> <li>・子育て、高齢化などの問題を、区民が主体的に学び、共有する機会が求められています。</li> <li>・図書館をはじめとする区内の施設や学校、区役所が相互に連携し、読書活動を進めていく必要があります。港南区は図書カード登録数が地域によって2倍以上の差があり、図書館や図書貸出施設の読書環境の充実が必要です。</li> </ul>
根拠・データ等	<p>(令和元年度港南区区民意識調査結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動充実のために必要なこと</li> <li>自分のできる範囲で気軽にボランティアとして参加できる仕組みづくり 29%</li> <li>地域活動に参加するきっかけとなる趣味やボランティア入門講座の充実 13%</li> </ul>

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
		目標	実績						
区民企画運営講座参加	単位	目標	150	120	120	120	120	8	8
	人	実績	158.0	20.0					
事業参加	単位	目標	25	25	25	25	25		
	人	実績	26.0	26.0					
読書講演会参加者数	単位	目標		60	70	70	70	70	70
	人	実績		60					

事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度 事業実施</li> <li>・令和2年度 事業実施</li> <li>・令和3年度 事業実施</li> <li>・令和4年度 読書活動推進事業開始</li> </ul>
----------	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	1 区民企画運営講座等実施事業	790	740	50	R3実績による増
	②	2 施設間連携事業	890	890	0	
	③	3 読書活動推進事業	250	0	250	新規事業
細事業合計			1,930	1,630	300	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民活動支援
	松田 博之	片山 宏之	福山 秀子 係

事業区課	港南区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	地域文化推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	620					620
令和3年度	720					720
増△減	△ 100	0	0	0	0	△ 100

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	720	720	720	620	620	620
市債+一般財源	720	720	720	620	620	620
決 算 事業費	670	696	515			
市債+一般財源	670	696	515			

事業概要	<p>こうなん文化交流協会が行う、地域の文化活動を効果的に推進し、区民の文化振興及び地域社会の発展に寄与する事業に補助金を交付します。また、共催である港南区区民文化祭を含め、協会に助言・支援を行っていきます。文化活動の発表の場の提供と、公共の場のうおい作りのため、管理運営委員会による港南区アートショーケース(通称がれりあ、平成18年10月より港南中央駅に設置)での作品展示を行います。</p>							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	こうなん文化交流協会補助金交付要綱							
運営方針等との関連	港南区運営方針 施策3「誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	<p>港南区では文化活動に取り組む人や団体を支援し、地域文化が盛んとなるきっかけ作りをすることで、地域を活性化・文化推進に貢献します。地域の文化活動が活発になる事で、区民同士の交流の活性化・文化推進に貢献します。</p>							
根拠・データ等	港南区区民意識調査							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
交流協会実施事業	単位	目標	8	13	13	13	13	13
	事業	実績	8	13				
アートショーケース展示数	単位	目標	12	12	12	12	12	12
	回	実績	12	12				
後援申請件数(中止含)	単位	目標	26	24	15	15	15	15
		実績	26	24				
事業スケジュール	<p>港南文化交流協会への補助 (6月)  港南区アートショーケースへの展示 (通年)  文化行事支援 (通年)</p>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	文化交流協会支援事業	500	600	▲ 100	文化祭会場の見直しによる減
	②	文化行事支援事業	120	120	0	
細事業合計			620	720	▲ 100	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	青少年育成担当
	松田 博之	三枝木 武	浅井 美保

事業区課	港南区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費	新規拡充			
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	地域スポーツ応援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,650	0	0	0		2,650
令和3年度	2,150	0	0	0		2,150
増△減	500	0	0	0	0	500

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	4,010	2,150	2,150	2,650	2,650	2,650
	市債+一般財源	4,010	2,150	2,150	2,650	2,650	2,650
決算	事業費	4,010	2,150	1,066			
	市債+一般財源	4,010	2,150	1,066			

事業概要	一人ひとりが元気に暮らせるまちづくりを目指して地域での健康・仲間づくりを進めるため、誰もが楽しめるスポーツの普及を促進し、身近な地域で多世代が運動を楽しむための活動を支援します。
	<p>【事業内容】</p> <p>1. 港南区健康ランニング大会事業補助金 小学生以上の区民を対象に、区民の健康・体力づくりや地域交流の場となることを目的として、旧野庭中学校周辺で本大会を実施するため、港南区健康ランニング大会実行委員会へ補助金を交付します。コロナ禍においては、代替方法で実施検討します。</p> <p>2. 港南区スポーツ推進委員活動支援 (1) こうなんファジーバレーボール大会補助金 年齢や経験を問わず、区民が気軽に楽しむことができる本競技をより一層振興して区民の健康・体力づくりを行うため、競技大会の開催を支援します。(港南区スポーツ推進委員 事業部会として開催) (2) ラジオ体操普及活動補助金 区民の健康づくり推進のため、ラジオ体操を地域に普及します。地域でのラジオ体操会の開催、各種イベントでのラジオ体操の指導をスポーツ推進委員全体で実施します。また、指導者育成のため、ラジオ体操指導者講習会への参加も促進します。</p> <p>3. 港南区スポーツ協会補助金 区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、区民の体育振興を図るため、スポーツ協会に補助金を交付します。 (1) 生涯スポーツ支援事業 (2) スポーツイベント情報紙レスポールこうなんの発行 (3) 研修事業</p>

事業開始年度	平成6年度
--------	-------

根拠法令・方針決裁等	港南区スポーツ推進委員連絡協議会活動補助金交付要綱、港南区健康ランニング大会事業補助金交付要綱、港南区スポーツ協会補助金交付要綱、横浜市スポーツ推進委員規則、スポーツ基本法
------------	--

運営方針等との関連	
-----------	--

事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化社会を迎え、個人における体力の維持向上や健康管理が大きな課題となっています。そのため、スポーツを通じた健康づくりに対する意識を高め、区民の健康維持・増進を図る必要があります。</li> <li>・地域スポーツ団体の事務局等運営人員も高齢化が進んでいます。今後も継続してスポーツイベントによるスポーツへの関心及び健康を意識する機会を区民に提供するため、事務局等の後継者を育成する必要があります。</li> <li>・地域の世代を超えた交流が希薄になっている中で、地域の一体感を醸成するための活動のひとつとして、スポーツを通じた地域住民の交流を図る必要があります。</li> </ul>
--------------	--

根拠・データ等	令和元年度港南区区民意識調査
---------	----------------

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
港南区健康ランニング大会参加者	単位	目標	1090	1090	1090	1090	1090	1090	1090
	人	実績	1090	0					
ファジーバレーボール大会参加者	単位	目標	210	210	210	210	210	210	210
	人	実績	210	0					
港南区スポーツ協会補助金事業数	単位	目標	6	6	7	7	7	7	7
	件	実績	6	3					

事業スケジュール	5月：港南区スポーツ推進委員活動補助金・港南区スポーツ協会補助金交付 8月：港南区健康ランニング大会補助金交付 10月：ファジーバレーボール大会、スポーツエンジョイフェスティバル 1月：港南区健康ランニング大会
----------	--

(単位：千円)

細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
①	港南区健康ランニング大会補助金補助金	2,000	1,500	500	
②	港南区スポーツ推進委員活動補助金	300	300	0	
③	港南区スポーツ協会補助金	350	350	0	
細事業合計		2,650	2,150	500	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	松田博之	係長	片山宏之	区民活動支援	係	菅野葉月
--------------------	----	------	----	------	--------	---	------

事業区課	港区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	
事業名称	青少年みらい応援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和4年度	6,560					6,560	
令和3年度	6,010					6,010	
増△減	550	0	0	0	0	550	

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	6,275	6,640	6,420	6,010	6,010	6,010
市債+一般財源	6,275	6,640	6,420	6,010	6,010	6,010
決 算	5,758	5,920	4,746			
市債+一般財源	5,758	5,920	4,746			

事業概要	<p>地域が実施する「子どもたちが地域に愛着を持ち、健やかに成長するための事業」に対して補助金を交付します。区内で活動する子ども会連絡協議会及び港南中央公園生き生きプレイパーク管理運営委員会が実施する事業に補助金を交付します。</p> <p>子どもたちが自らの夢や希望を持ち、それに向かって努力することの大切さを伝え、将来について考えるきっかけとなるような講演会を開催します。</p> <p>部活動などの文化、スポーツ活動において、区民を勇気づけるような優秀な活動を行った区内の青少年を表彰します。</p> <p>子どもたちが夢と希望を持ち、仲間との交流を通して互いに認め合う心を育むことを目的として、港南区内の小中学生に演奏・合唱の発表会の場を提供します。</p> <p>地域における異世代交流や国際交流の場を提供し、青少年の健全育成推進を図ることを目的として「こうなん子どもゆめワールド」を開催する、こうなん子どもゆめワールド実行委員会に補助金を交付し、支援します。</p>							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	港南区地域で育て子どもたち事業補助金交付要綱、港南区青少年活動事業補助金交付要綱、港南区青少年文化スポーツ活動区長表彰要綱、こうなん子どもゆめワールド補助金交付要綱							
運営方針等との関連	港南区運営方針「施策2 見守り・支えあいのまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	子どもたちが地域で健やかに成長できるよう、地域で活動する団体等を支援するとともに、子どもたちが夢と希望をもって成長できるように応援します。地域での多世代交流や活動の場を提供し、成功体験を積むことで子どもたちの自己決定力や自己肯定力を向上させ、青少年の健全育成を推進します。							
根拠・データ等	港南区民意調査							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ゆめワールド出店・出演団体数	単位	目標	—	16	88	88	88	88
	団体	実績	88	0				
ミュージックフェスタ出演団体数	単位	目標	6	8	8	8	8	8
	団体	実績	6	8				
地域で育て補助金交付団体数	単位	目標	15	15	15	15	15	15
	団体	実績	13	6				
事業スケジュール	<p>①港南区地域で育て子どもたち事業：通年</p> <p>②港南区青少年活動事業：通年</p> <p>③子どもゆめ応援講演会：令和5年2月開催</p> <p>④港南区青少年文化スポーツ活動区長表彰：通年</p> <p>⑤ひまわりミュージックフェスタ：募集 4月、実行委員会 10月、開催 令和5年1月</p> <p>⑥こうなん子どもゆめワールド：出演団体募集 6月、開催 11月5日</p> <p>⑦ひまわりフェスタ：11月</p>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 港南区地域で育て子どもたち事業	750	750	0	
	② 港南区青少年活動事業	420	420	0	
	③ 子どもゆめ応援講演会	760	610	150	動画配信を委託することによる増
	④ 港南区青少年文化スポーツ活動区長表彰	270	320	▲ 50	作成必要数の減
	⑤ ひまわりミュージックフェスタ	610	610	0	
	⑥ こうなん子どもゆめワールド	3,200	2,700	500	動画配信を委託することによる増
	⑦ ひまわりフェスタ	550	600	▲ 50	委託内容見直しによる減
	細事業合計	6,560	6,010	550	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	松田 博之	係長	三枝木 武	青少年育成担当	係	政木 優子
--------------------	----	-------	----	-------	---------	---	-------

事業区課	港南区	子ども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	地域で子育て応援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	6,765					6,765
令和3年度	7,219					7,219
増△減	△454	0	0	0	0	△454

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	7,960	7,608	6,862	7,000	7,000	7,000
	市債+一般財源	7,960	7,608	6,862	7,000	7,000	7,000
決算	事業費	7,950	7,403	5,425			
	市債+一般財源	7,950	7,403	5,425			

事業概要	地域で安心して子育てができるよう、子育ての居場所機能の充実、育てにくさを感じる子育てについての相談・啓発事業、地域の0歳児赤ちゃん教室、保育園と連携した事業（絵本の貸出等）を展開していきます。DVや虐待等、困難な問題を抱える家族の支援の充実を図ります。						
事業開始年度	平成17年度						
根拠法令・方針決裁等	子ども・子育て支援事業計画、子ども子育て支援法、子ども・子育て支援法及び次世代育成支援対策推進法、母子保健法、児童福祉法、成育基本法						
運営方針等との関連	施策3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり						

事業目的・効果 (必要性)	孤立による育児不安を抱える親が増えるなか、子育ての居場所や身近な相談の機会を提供し、地域の子育て世代を支援することが益々必要となっています。居場所の提供やガイドブックの配布、各種講座の開催、0歳児赤ちゃん教室等を通じ子育て世代の子育てに関する不安を解消するとともに、地域でのつながりを作ることができるよう、ICT活用にも力を入れながら育児支援の取組を展開します。 また、不適切養育を予防するために、育てにくさを感じている養育者が安心して相談できる仕組みづくりや、DV等複雑な家庭環境にある家庭への支援の充実が求められています。 本事業は、各取組みを通して、子育て世代が必要な支援につながることができ、安心して子育てできる地域づくりを推進します。						
------------------	--	--	--	--	--	--	--

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・港南区の出生数&lt;実績推移&gt; 平成29年：1374人、平成30年度：1,341人、令和元年度：1,275人【横浜市統計書】</li> <li>・子育てについて、不安を感じたり自信が持たなくなることが、「よくあった(ある)」、「時々あった(ある)」を合わせると、「妊娠中」が58.1%、「出産後、半年くらいの間」が76.1%、「現在」が「60.0%」であった。また、5年前調査と比較すると、「よくあった」と回答した人が、「妊娠中」「出産後、半年くらいの間」「現在」とともに増えている。【横浜市未就学児童の保育等に関する現状及び保護者ニーズ把握のための調査；H30】</li> <li>・現在、子育てをしていて感じている困りごとは、「こどものしかり方、しつけ」が最も多く、56.7%を占めている。【横浜市未就学児童の保育等に関する現状及び保護者ニーズ把握のための調査；H30】</li> <li>・こどもの救急搬送で多い理由は、急病（熱性けいれん、てんかん、腹痛など）について、ケガ（転倒、転落、やけどなど）が多い状況。【H29、港南消防署、港南火災予防協会】</li> </ul>						
---------	--	--	--	--	--	--	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
赤ちゃん教室の参加者数	単位	目標	3700	3000	2520	2520	3000	3000	3000
	人	実績	3704	1721					
ペアレントトレーニングの研修会参加者数	単位	目標	40	40	80	100	100	100	100
	人	実績	31	34					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	平成17年度：0歳児赤ちゃん教室、乳幼児事故予防事業が開始 平成18年度：保育園を活用した子育て支援事業（保育魅力アップ事業） 平成20年度：育てにくさを感じる子育てへの支援事業、子ども家庭専門相談事業（DV・離婚相談等）、エリア別子育て支援事業が開始 令和3年度：ZoomやYouTube動画配信等ICTの活用を試験的に導入 令和4年度：ICT活用の本格実施						
----------	--	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① エリア別子育て支援事業	3,438	3,543	▲105	令和2年度実績による減
	② 育てにくさを感じる子育て支援事業	776	1,008	▲232	公立保育園数減による減
	③ こども家庭相談事業	480	360	120	事例検討実施に伴う増
	④ 0歳児赤ちゃん教室事業 【対象】：第1子の0歳児とその養育者、妊婦	1,334	1,451	▲117	謝金見直し及び保険加入による増
	⑤ 保育魅力アップ事業【対象：地域の親子】	737	857	▲120	プチ体験事業廃止による減
細事業合計		6,765	7,219	▲454	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	奥津 秀子	係長	山岡 佐江子	係	杉崎 健司郎
--------------------	----	-------	----	--------	---	--------

事業区課	港南区	子ども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	「切れ目のない」子育て支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	904	0	0	0		904
令和3年度	1,123	0	0	0		1,123
増△減	△219	0	0	0	0	△219

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	450	910	920	1,081	1,081	1,081
	市債+一般財源	450	910	920	1,081	1,081	1,081
決算	事業費	416	1,003	986			
	市債+一般財源	416	1,003	986			

事業概要	未就学児童の保護者に対して、保育園や幼稚園の情報を提供します。また、子どもの就学後も、共働きやひとり親世帯の保護者が安心して仕事と子育ての両立ができるよう、子どもの放課後の居場所（預け先）に関する情報提供や、相談機会の充実等の支援を実施します。		
事業開始年度	平成26年度		
根拠法令・方針決裁等	子ども・子育て支援法、児童福祉法、横浜市放課後キッズクラブ事業実施要綱、横浜市放課後児童クラブ事業実施要綱		
運営方針等との関連	施策3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり		

事業目的・効果 (必要性)	<p>①小学校就学時健康診断会場における放課後の居場所相談の実施 放課後児童クラブ・キッズクラブを利用するにあたり、保護者・児童の不安や疑問点を解消し、スムーズにクラブを利用することができるよう、小学校で実施する就学時健康診断の会場において、放課後キッズクラブや放課後児童クラブのスタッフにより説明を行う「放課後の居場所相談」を実施します。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を踏まえ、ブースを設置した相談が困難な場合は、例年よくある質問などをまとめた資料を作成し、就学通知とあわせて送付するなど、代替案で対応することで、同等の効果を狙います。</p> <p>②「港南区放課後まっぶ」の発行、配布 放課後の居場所に関する情報をより多くの方が適切な時期に得られるよう、港南区放課後まっぶを発行、配布します。4月から区役所で配布開始し（1,000部）、6月～7月に区内保育所・幼稚園（2,000部）、11月に就学時健康診断会場にて配布（2,000部）します。</p> <p>③④区内の保育所一覧、幼稚園一覧の作成、配布 保育・教育施設の入園申込書類に同封する区内保育施設一覧を作成し、10月から区役所、行政サービスセンター、保育所で配布します。また、待機児童対策のために、幼稚園の案内を強化する目的で区内幼稚園一覧を作成し、10月から区役所で配布します。</p> <p>⑤放課後施設利用の子どもに向けた防災の啓発 保護者や子どもの防災意識向上促進のため、区役所備蓄食料や防災ガイドを活用した啓発を行います。</p>		
根拠・データ等	子ども・子育て支援法、児童福祉法、横浜市放課後キッズクラブ事業実施要綱、横浜市放課後児童クラブ事業実施要綱		

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
放課後の居場所相談実施校数	単位	目標	21	21	21	21	21	21	21
	校	実績	21.0	コロナにより代替対応					
港南区放課後まっぶ発行部数	単位	目標	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000
	部	実績	5000.0	5000.0					
保育所一覧幼稚園一覧発行部数	単位	目標	5500	6500	6500	7000	7000	7000	7000
	部	実績	5500	6500					

事業スケジュール	<p>①放課後の居場所相談：小学校への協力依頼（7月）、各校・庁内調整（8～9月）、居場所相談実施または資料配布（10～12月）</p> <p>②港南区放課後まっぶ：保育・教育施設等配布（4～翌年1月）、見直し・作成・増刷（2～3月）</p> <p>③保育所一覧：内容検討（4～7月）、保育所への調査・作成（8月～10月）、配布開始（10月中旬～）</p> <p>④幼稚園一覧：内容検討、幼稚園への調査（4～7月）、作成（8月～9月）、配布開始（10月上旬～）</p> <p>⑤放課後施設利用の子ども向け防災への取組：関係各所への依頼・通知（10～12月）、配送・実施（12～2月）</p>		
----------	---	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 放課後の居場所相談	284	284	0	
	② 港南区放課後まっぶ	270	270	0	
	③ 保育所一覧	250	220	30	発行部数の見直しによる増
	④ 幼稚園一覧	70	100	▲30	発行部数の見直しによる減
	⑤ 放課後施設利用の子ども向け防災への取組	30	30	0	
	⑥ 乳幼児期から学童・思春期の子育て支援	0	219	▲219	「子ども・家庭支援相談」の発展的解消に伴う減
	細事業合計	904	1,123	▲219	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	大峯 誠	関 美有希	夏目 誠也

事業区課	港南区	福祉保健課 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1	目		
事業名称	地域福祉保健活動推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,444	0	0	0		3,444
令和3年度	4,744	0	0	0		4,744
増△減	△ 1,300	0	0	0	0	△ 1,300

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 事業費	3,063	4,445	6,634	4,000	4,000	4,000
決 算 市債+一般財源	3,063	4,445	6,634	4,000	4,000	4,000
予 算 事業費	2,744	4,181	3,804			
決 算 市債+一般財源	2,744	4,181	3,804			

事業概要	<p>地域における福祉保健活動の活性化や、新たな地域活動の担い手創出を目指し「地域福祉保健計画」を推進します。また、身近な福祉・保健の拠点である「地域ケアプラザ」の運営を支援するとともに、広く周知し区民の利用を促進します。さらに、平時から医師会等と連携し、区の実情に応じた「災害時の医療体制」を構築します。</p> <p><b>【地域福祉保健計画の推進】</b></p> <p>①地域福祉保健計画（港南ひまわりプラン）の周知・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の福祉保健活動の活性化や新たな担い手の創出に向けて、港南ひまわりプランを広く区民にPRするため、動画発信や啓発物品の配布を予定</li> </ul> <p>②地域福祉保健推進協議会の開催（3回予定）</p> <p>③港南ひまわりプラン推進に関する研修・交流の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しゃべっCiao♪（1回予定）</li> <li>・地域支援チーム研修（1回予定）</li> </ul> <p>④見守り協力事業者の取組推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの見守り通信を2回発行予定</li> </ul> <p>⑤港南ひまわりプラン応援補助金の交付（10団体予定）</p> <p>⑥ボランティアフェスティバルへの補助金交付</p> <p>⑦ふれあいスポーツ交流会への補助金交付</p> <p><b>【地域ケアプラザ運営推進】</b></p> <p>①日野南地域ケアプラザ第4期指定管理者選定</p> <p>②新地域ケアプラザの指定管理者の選定手続き開始</p> <p>③地域ケアプラザ紹介冊子の改訂</p> <p>④ひまわりホルダーの周知・啓発</p> <p><b>【災害医療対策】</b></p> <p>①災害医療連絡会議の開催 2回予定</p> <p>②災害医療合同訓練の実施 1回</p> <p>③災害拠点病院など関係機関及び医療局等とのMCA無線等による通信訓練11回予定</p>
事業開始年度	平成18年度
根拠法令・方針決裁等	社会福祉法、横浜市市民協働条例、横浜市地域ケアプラザ条例、同施行規則、同事業実施要綱、港南区地域福祉保健計画、ボランティアフェスティバル等補助金交付要綱、港南区障害児・者ふれあいスポーツ大会補助金交付要綱、港南区港南ひまわりプラン応援補助金交付要綱
運営方針等との関連	地域の皆さまと協働で進める地域づくり
事業目的・効果（必要性）	第4期港南ひまわりプラン推進のため、地域ケアプラザなどの関係機関との連携及び自治会・町内会、地区社会福祉協議会をはじめとした活動団体等の支援が必要です。高齢者、子ども、障害児・者等に対する見守り活動の推進のため、事業者等も含め地域で支え合うシステムの充実が必要です。平時から区内の関係機関と災害医療に関する意見交換や情報共有を行い、区の実情に応じた災害時の医療体制を構築することが必要です。
根拠・データ等	<p><b>【各種データ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区連合及び地区社会福祉協議会の数 15</li> <li>・地域ケアプラザ等の数 10（地域ケアプラザ9＋福祉保健活動拠点1）</li> <li>・災害拠点病院 1、災害時救急病院等 6+I36</li> </ul> <p><b>【実績・今後の見込み】</b></p> <p>1 港南ひまわりプランの推進</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>港南ひまわりプランの周知・啓発（動画発信や啓発物品の配布を予定）</li> <li>地域福祉保健推進協議会の開催 3回予定 （元年度：3回、2年度：5回、3年度、3回開催予定）</li> <li>港南ひまわりプラン推進に関する研修・交流の実施 しゃべっCiao♪ 1回予定（元年度：1回開催、2年度：中止、3年度：規模縮小） 地域支援チーム研修 1回予定（元年度：1回、2年度：中止、3年度：1回開催）</li> <li>見守り協力事業者の取組推進 まちの見守り通信2回発行予定 （元年度：2回発行、2年度：1回発行、3年度：2回発行予定）</li> <li>港南ひまわりプラン応援補助金の交付 （元年度：8団体（新規2、継続6）、2年度：2団体（継続2）、3年度（7団体））</li> <li>ボランティアフェスティバルへの助成 （元年度：11/17開催 50団体（約800人参加） 2年度：中止、3年度：2/27開催予定）</li> <li>ふれあいスポーツ交流会への助成 （元年度：台風19号のため中止、2年度：中止、3年度：中止）</li> </ol>



- 2 地域ケアプラザ運営推進 ※「新しい生活様式」への対応にかかる相談支援も行います。  
 元年度：ケアプラザ紹介冊子の改定  
 元年度から2年度：地域ケアプラザの指定管理者(7施設)の再選定  
 3年度から4年度：日野南地域ケアプラザの指定管理者の再選定
- 3 災害医療対策  
 (1) 災害医療連絡会議の開催 2回予定(元年度3回、2年度3回、3年度2回)  
 (2) 災害医療合同訓練の実施 1回予定(10月頃)(元年度10/19実施、2年度10/22実施、3年度10/16実施)  
 (3) 災害拠点病院など関係機関とのMCA無線等による通信訓練5回予定(元年度7回、2年度4回、3年度5回予定)+I36

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
①推進協議会開催回数	単位	目標	① 3 ② -	① 5 ② -	① 3 ② -	① 3 ② 424	① 3 ② 454	① 3 ② 484	① 5 ② 514
		実績	① 3 ② 337	① 5 ② 364					
②見守り協力事業者数	①回 ②件	実績	① 3 ② 337	① 5 ② 364					
		実績	① 3 ② 337	① 5 ② 364					
ひまわりホルダー登録者数	単位	目標	-	-	-	5475	5875	6275	6675
		人	4089	4675					
災害医療訓練回数	単位	目標	12	12	12	12	12	12	12
		回	11	9					

事業スケジュール	令和3年度：第4期港南ひまわりプランスタート 令和4年度：日野南地域ケアプラザ第4期指定管理者選定 令和5年度：新地域ケアプラザ第1期指定管理者選定 令和6年度：第5期港南ひまわりプラン策定①、新地域ケアプラザ開所、日限山地域ケアプラザ第3期指定管理者選定 令和7年度：第5期港南ひまわりプラン策定②、港南台地域ケアプラザ他6館及び福祉保健活動拠点第5期指定管理者選定
----------	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域福祉保健計画の推進	3,034	4,054	▲ 1,020	前年度の事業完了による減
②	地域ケアプラザ運営推進	200	80	120	紹介冊子改訂による増	
③	災害医療対策	210	610	▲ 400	前年度の事業完了による減	
細事業合計		3,444	4,744	▲ 1,300		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	佐藤 潤	係長	福岡 智央	事業企画担当	係	児島 智之

事業区課	港南区	福祉保健課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	健康アクションこうなん5 推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和4年度	7,767					7,767	
令和3年度	7,743					7,743	
増△減	24	0	0	0	0	24	

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	5,340	6,968	7,546	7,787	7,787	7,787
算 市債+一般財源	5,340	6,968	7,546	7,787	7,787	7,787
決 事業費	5,140	6,661	3,824			
算 市債+一般財源	5,140	6,661	3,824			

事業概要	<p>持続可能な社会をつくるため、健康寿命の延伸を目指します。そのためには、生活習慣病予防を推進し、同時に「がん」及び「特定健診」の普及啓発を実施するなど、健康づくりの合言葉「健康アクションこうなん5」に基づき取り組みます。</p> <p>1 重点取組  (1) 働き子育て世代の健康づくり  ①母子の健康づくり  子育て中の母親を対象に、骨密度測定や栄養指導、口腔ケアなどを実施し、つい後回しになりそうな母親の健康づくりを支援するほか、4か月健康診査、3歳児健康診査時に保護者に対して、生活習慣病の予防啓発を実施します。  ②「健康経営」の推進  区内企業と一緒に従業員の健康づくりを行います。  ・出前講座・健康相談により、企業の実情に即した従業員の健康づくりを提案していきます。合わせて「健康経営」の考え方を周知し、認証取得を働きかけます。  ・認証取得した区内企業と連携しながら健康経営認証制度を区との関係が深い事業者等に向けてPRし、区内企業の認証を働きかけを行うとともに、健康づくりをより効果的に進めるため、ランクアップの支援、専門職の派遣を行います。  (2) 健康診断・がん検診の受診促進  女性の受診率を向上させるために、肺がん検診時に女性が受診しやすくし、大腸がん検診について啓発を強化します。さらに、医師会と協働し、がん検診向上のためのリーフレットを配布します。  引き続き、区内小学6年生を対象に、喫煙防止教室を年に約4校実施するとともに、区内全6年生にリーフレットを配布し、喫煙防止の大切さを伝えます。</p> <p>2 健康アクションこうなん5の推進  (1) 「あるこう！毎日」推進事業  ウォーキングが健康維持にとって有効であることや、効果的な運動方法などの講義・実技を行い、区民の意識や意欲を高めます。また、ウォーキングマップを改定し、幅広い年代の区民に向けて啓発を行います。  また、食生活等改善推進員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員等が連携し、それぞれを所管する各課と連携しながら、区民がウォーキングを通して交流を行うことを目的としたウォーキングイベントを開催します。  ◎港南ふれあいウォーキング開催  (2) 「たべよう！野菜」推進事業  朝食の欠食率が高くなる中学生を対象に、食の大切さを伝え、望ましい食習慣の形成を促す支援を行います。また離乳食期の子どもの保護者を対象とした食の啓発のほか、障害者の食の健康についても取り組んでいきます。  ◎中学生の食育講座 ◎離乳食スタートごっくん教室 ◎障がい者への食育取組 ◎やさいたっぷりパンの販売支援  (3) 「まもろう！歯」推進事業  14か月以下の子どもとその保護者を対象に、歯科衛生士や栄養士による講話、歯磨き実習等を行い、親子そろって一生自分の歯で食べ、健康に過ごすための基礎となる健康な口腔ケアを支援します。  ◎親子の歯の健康教室  ◎オーラルフレイル（口腔機能の低下）対策の促進  (4) 「やすもう！しっかり」推進事業  自殺対策事業や心の健康づくり事業として、高齢・障害支援課と連携し、働き・子育て世代を対象に、職域への働きかけを行います。  ◎出前講座等  (5) 「がん対策と健康診断」推進事業  活動団体を中心にがん予防啓発や健康づくりに関する人材育成を実施し、協働で啓発活動を行うとともに、講演会の実施、小学校での喫煙防止啓発教材の配布、地域でのイベント開催、及びがん検診を受けやすくするなど、区民のがん予防啓発とがん検診の受診率の向上を図ります。  ◎がん講演会の開催 ◎小学校でのリーフレット等の喫煙防止啓発 ◎肺がん検診時の保育支援 ◎がん検診向上に向けたリーフレットを医療機関で配布</p>
事業開始年度	平成19年度
根拠法令・方針決裁等	地域保健法、高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法、がん対策基本法、横浜市がん撲滅対策推進条例、健康横浜21（第2期）
運営方針等との関連	施策3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり
事業目的・効果（必要性）	<p>●持続可能な社会づくりのためには、誰もが健康であり続けることが求められ、各世代で生活習慣病予防を推進する必要があります。特に日々の忙しさから食生活等が乱れがちになる働き・子育て世代は、運動する機会も少ない状況にあるため、重点的に生活習慣の改善を啓発していく必要があります。</p> <p>●区民意識調査では、過去2年間でがん検診を受けていないと答えた人は、55%でした。検診の内容や費用などを啓発・理解してもらい、がんの早期発見・早期治療につなげることが、がん対策を進めるうえで必要です。</p> <p>●特に働き世代は、健康づくりに関心が薄い傾向にあり、生活習慣の改善がなかなか進みません。企業にとっても、従業員が健康であることは重要であることから、企業と一緒に健康経営の取組を進めます。</p>
	<p>・出前講座  令和元年度実績 51回 令和2年度実績 27回 令和3年度見込み 30回 令和4年度見込み 30回</p> <p>・中学生の食育講座  令和元年度 5校/720人 令和2年度 2校/250人 令和3年度見込み 5校/720人 令和3年度見込み 5校/720人</p>

根拠・データ等		<ul style="list-style-type: none"> <li>区内よこはま健康経営認証事業所数 令和元年度 44事業所 令和2年度 51事業所 令和3年度見込み 51事業所 令和4年度見込み 51事業所</li> <li>市内の健康寿命と平均寿命の推移【健康疫学データ】 &lt;実績推移&gt;平成22年 男性：平均寿命80.42 健康寿命70.98 女性：平均寿命86.98 健康寿命75.65 平成19年 男性：平均寿命79.68 健康寿命70.36 女性：平均寿命86.12 健康寿命72.09</li> <li>平成28年 港南区の平均寿命と平均自立期間【市民の健康づくり計画 大2期健康横浜21 ー中間評価報告書ー】 男性：平均自立期間79.58 平均寿命81.40 女性：平均自立期間83.13 平均寿命87.08</li> </ul>							
事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
港南区男性の平均自立期間 ( )内は横浜市	単位	目標	79.59	79.59	79.59	79.59	79.59	79.59	79.59
	年	実績	77.38(79.73)	77.38(79.73)					
港南区女性の平均自立期間 ( )内は横浜市	単位	目標	83.14	83.14	83.14	83.14	83.14	83.14	83.14
	年	実績	82.97(83.36)	82.97(83.36)					
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール		平成19年度 事業開始 令和元年度 がん検診や特定健診の受診率向上のため、港南区医師会と連携し受診勧奨を実施（受診勧奨リーフレット作成） 令和2年度 生活を見直し、改善した状態（行動変容）を促す健康づくりを推進するための講座を実施 令和3年度 オーラルフレイル予防・啓発事業、ペジメータを活用した食生活の改善支援 令和4年度 感染対策普及リーフレット作成							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	1 「あるこう！毎日」推進事業	1,994	2,086	▲ 92
②	2 「たべよう！野菜」推進事業	753	597	156	個別相談の増
③	3 「まもろう！歯」推進事業	688	1,238	▲ 550	デザイン等委託費の減
④	4 「がん対策と健康診断」推進事業	1,079	1,087	▲ 8	在庫の活用による減
⑤	5 「やすもう！しっかり」推進事業	24	24	0	
⑥	6 働き・子育て世代の健康づくり	1,919	1,763	156	個別相談の増
⑦	7 出前講座・健康相談	1,310	948	362	感染症対策のための増
	細事業合計	7,767	7,743	24	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	佐藤 潤	丸山 尚子	五十嵐 修

事業区課	港南区	福祉保健課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	災害時も地域で見守り推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,500					1,500
令和3年度	2,028					2,028
増△減	△ 528	0	0	0	0	△ 528

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,000	1,250	1,580	1,600	1,600	1,600
	市債+一般財源	1,000	1,250	1,580	1,600	1,600	1,600
決算	事業費	774	1,029	1,335			
	市債+一般財源	774	1,029	1,335			

事業概要	<p>いざというときに地域での要援護者への支援が円滑に進められるようパンフレット等を活用した啓発活動の実施や、要援護者の受入訓練の拡充を図り、災害に強いまちづくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトRで検討、作成したパンフレットを活用し、要援護者当事者や支援者に対し、自助・共助の取組の普及啓発を行います。</li> <li>要援護者の訓練参加促進等に取り組む拠点・施設の拡充を図ります。</li> <li>支援に際し要援護者や支援者からの幅広い意見が取り入れられるよう、手話及び筆記通訳を実施し、障害者団体等との防災懇談会を行います。</li> <li>災害時に区と福祉避難所とが連携して、福祉避難所が新しい生活様式も踏まえて円滑に運営されることなどを目的として、区と福祉避難所との連絡会、連携した訓練等を実施します。</li> </ul>
事業開始年度	平成24年度
根拠法令・方針決裁等	災害対策基本法、横浜市震災対策条例、横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例、横浜市防災計画、港南区地域福祉保健計画
運営方針等との関連	R3区運営方針 施策1 安全・安心のまちづくり

事業目的・効果(必要性)	<p>東日本大震災や熊本地震を契機として、いざというときに、地域の支えあいの中で要援護者への支援が円滑に行われるような仕組みづくりが求められています。「令和元年度区民意識調査」では約8割の方が、災害時に要援護者に対してなんらかの形で協力できると回答しています。こうした声を活かし、災害時に備えた日々の見守り・支えあいが進むよう、要援護者に対する理解を広げ、地域の中で要援護者支援の取組が実施されるように働きかける必要があります。また、感染症対策を踏まえた福祉避難所運営や、要援護者の訓練参加促進も重要です。</p>
--------------	---

根拠・データ等	<p>【根拠・データ】 令和元年度港南区区民意識調査77%</p> <p>【実績・今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度：障害者団体等と協働で、具体的な支援策を検討するプロジェクト（プロジェクトR）を発足、27年～30年度まで活動。</li> <li>令和元年度以降は、年に1回障害者団体等との防災懇談会を計画。</li> <li>平成27年度：災害時の要援護者支援啓発パンフレット（障がい者編）の作成。（以降随時更新）</li> <li>平成28年度：災害時の要援護者支援啓発パンフレット（障がい者編）音声版を作成し、全視覚障害者に配布。</li> <li>：災害時の要援護者支援啓発パンフレット（支援者編）の作成。（以降随時更新）</li> <li>平成29年度：災害時の要援護者支援啓発パンフレット（風水害編）の作成。（以降随時更新）</li> <li>平成29年度～令和元年度：防災講演会での手話・筆記通訳の実施</li> <li>令和元年度～：福祉避難所と区役所との災害時情報伝達訓練の実施、福祉避難所連絡会の計画。</li> <li>令和3年度：災害時の要援護者支援啓発パンフレット（風水害編）音声版を作成し、全視覚障害者への配布。</li> <li>：HUG福祉避難所版作成。</li> </ul>
---------	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
パンフレット印刷 (障害者編)	単位	目標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	部	実績	3,000	3,000					
パンフレット印刷 (支援者編)	単位	目標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	部	実績	2,100 (追記チラシ作成)	3,000					
パンフレット印刷 (風水害編)	単位	目標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	部	実績	2,000	4,000					

事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月～3月：パンフレット等による要援護者支援啓発、福祉避難所等によるHUG訓練実施の促進</li> <li>7月、3月：福祉避難所連絡会の実施</li> <li>9月～12月：各地域防災拠点訓練での啓発活動等の実施</li> <li>3月：防災懇談会の実施</li> </ul>
----------	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	災害時も地域で見守り推進事業	1,500	2,028	▲ 528	既存印刷物活用による印刷費の減
	細事業合計	1,500	2,028	▲ 528		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	佐藤 潤	係長	横内 仁	運営企画係	和田 綾子
--------------------	----	------	----	------	-------	-------

事業区課	港南区	生活衛生課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	安全で快適な生活推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,099	0	0	0		1,099
令和3年度	1,300	0	0	0		1,300
増△減	△ 201	0	0	0	0	△ 201

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	1,360	1,647	1,434	1,155	1,155	1,155
算 市債+一般財源	1,360	1,647	1,434	1,155	1,155	1,155
決 事業費	1,022	1,585	1,244			
算 市債+一般財源	1,022	1,585	1,244			

事業概要	<p>区民が安全で快適な生活を送れるよう、生活環境に起因する課題（食の安全・動物の適正飼育・ハチ対策等）の解決に向けた以下の支援を行います。</p> <p>1 食の安全推進事業【事業費】424千円  (1) ノロウイルス等による大規模食中毒の発生防止  給食施設でのノロウイルス等を原因とする食中毒発生防止を目的に、小学校、病院、社会福祉施設等の給食施設を対象に各施設へ立ち入り又は文書送付により指導・支援を行います。</p> <p>(2) 地域への食中毒予防啓発  コロナ禍で行われていない、高齢者向けの会食・配食サービスや子ども食堂等の再開を見越した衛生支援として、細菌検査用培地などを用いて施設や器具などの衛生状況を確認し、効果的な衛生教育につなげます。併せて、広報よこはまでの区民向け啓発記事の掲載やパネル等による非集合型の啓発を実施します。</p> <p>2 動物の適正な飼育啓発事業【事業費】320千円  (1) 犬、猫の適正飼育啓発事業  犬や猫の飼い主に対して、窓口や現地にテラシ配布等による適正飼育指導を行います。飼い主のいない猫対策として、地域における活動など、区民から不妊去勢手術のため捕獲器貸出の要望があった場合には、貸出しを行います。また、猫による被害で困っている相談者に忌避装置の貸出しを行います。</p> <p>(2) 長寿動物の飼い主表彰  16才以上で適正飼育を行っている犬の飼い主や港南区獣医師会が推薦する犬、猫、その他長寿動物の優良飼い主に対して表彰状を郵送により交付します。</p> <p>(3) 動物連絡会との協働  獣医師、動物適正飼育推進員、自治会、保健活動推進員、学校関係者、動物ボランティア等からなる動物連絡会との協働により、啓発リーフレットの作成等の事業を実施します。</p> <p>3 災害時のペット同行避難支援事業【事業費】220千円  区民を対象に地域防災拠点の避難訓練の際にペットとの同行避難について啓発を行います。また、コロナ禍をふまえた啓発手段としてパネル展示や講習会（集合形式及びオンライン形式）を実施します。</p> <p>4 ハチ対策事業【事業費】130千円  アシナガバチの巣の駆除を自身で行う区民に、駆除機材の貸出を行います。</p> <p>5 動物保護管理事業【事業費】5千円  動物関係業務等に使用する機材の消毒薬等を購入します。</p>
	事業開始年度

根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品衛生法、横浜市食品衛生法に基づく公衆衛生上講ずべき措置の基準に関する条例、食品安全基本法、横浜市食品衛生監視指導計画</li> <li>動物の愛護及び管理に関する法律、狂犬病予防法、横浜市動物の愛護及び管理に関する条例、横浜市動物愛護管理業務計画</li> <li>横浜市環境衛生業務実施計画、横浜市スズメバチ等対策要領</li> </ul>
------------	--

運営方針等との関連	港南区運営方針 施策1 安全・安心のまちづくり
-----------	-------------------------

事業目的・効果 (必要性)	<p>1 食の安全推進事業  毎年、加熱不十分な食肉を原因とするカンピロバクター食中毒や、ノロウイルスに汚染された食品を原因とする食中毒、食品への異物混入事件が全国各地で発生しており、港南区も例外ではありません。食の安全に関する課題の多くは、消費者や食品等事業者が、適切な食品の取扱いを十分理解していない、あるいは、理解していても実践されていないことが大きな要因です。また、コロナ禍で行われていない、高齢者に対する配食・会食サービスや子ども食堂などの再開を見越した食中毒予防等の支援が必要となります。さらには、新型コロナウイルス感染症予防のための新しい生活様式がスタートし、食品衛生に関する情報提供の方法や講習会の在り方についても感染状況を踏まえた手法が求められています。</p> <p>2 動物の適正な飼育啓発事業  区内では、畜犬登録上約9,000頭の犬が飼育されており、猫も同程度の頭数が飼育されていると推定されます。家族の一員として大切に飼育されているペットがいる一方で、鳴き声やふん尿などにより地域のトラブルに発展するケースも多く見られます。飼い主のいない猫（いわゆるのら猫）への対応を含め、人と動物が快適に暮らしていけるよう、飼い主等に対して動物の習性・生理をよく理解していただくとともに、飼育マナーの向上を図ります。</p> <p>3 災害時のペット同行避難支援事業  横浜市防災計画には、地域防災拠点にペットの一時飼育場所を設定することや、飼い主がペットの飼育管理を行うことなどについて記載されていますが、飼い主側の準備が十分でなかったり、同行避難に対する拠点側の理解がなかなか進まない現状があります。発災時には、必ずと言っていいほどペットを連れてくる飼い主がおり、地域防災拠点での動物の飼育を巡るトラブルをなくすため、拠点訓練等の機会をとらえて飼い主及び地域に向けた啓発を進める必要があります。さらに、新型コロナウイルス感染症予防のための新しい生活様式がスタートし、啓発の手段についても感染状況を踏まえた手法が求められています。</p>
------------------	---

	<p>4 ハチ対策事業 初夏から秋にかけては、ハチに関する相談が多く寄せられます。スズメバチは攻撃性が高く、巢の除去には相当の危険を伴うため、原則的に敷地の所有者が駆除業者に委託するなどして対応します。スズメバチに比較して攻撃性が弱いアシナガバチについては、希望する区民自身が巣を安全に除去できるよう、駆除機材の貸出需要があります。</p> <p>5 動物保護管理事業 機材の衛生管理の徹底により、区民サービスの向上に繋がります。</p>								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品衛生法、横浜市食品衛生法に基づく公衆衛生上講ずべき措置の基準に関する条例、食品安全基本法、横浜市食品衛生監視指導計画</li> <li>動物の愛護及び管理に関する法律、狂犬病予防法、横浜市動物の愛護及び管理に関する条例、横浜市動物愛護管理業務計画</li> <li>横浜市環境衛生業務実施計画、横浜市スズメバチ等対策要領</li> </ul>								
事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
衛生講習会	単位	目標	20	13	15	15	15	15	15
	回	実績	20	13					
犬猫苦情受付	単位	目標	755	690	750	750	750	750	750
	件	実績	755	690					
ハチ駆除機材貸出	単位	目標	32	19	25	25	25	25	25
		実績	32	19					
事業スケジュール	<p>平成15年度 事業開始 平成27年度 食中毒予防啓発パンフレット作成・食中毒発生時機材の準備 令和2年度 地域防災拠点衛生掲示セット作成・配付（区内31拠点） 令和3年度 ペット防災パネル作成 令和4年度 食品衛生パネル作成</p>								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	食の安全推進事業		424	410	14
②	動物の適正な飼育啓発事業		320	495	▲175	事業内容見直しによる減
③	災害時のペット同行避難支援事業		220	360	▲140	啓発物品作成済による減
④	ハチ対策事業		130	30	100	機材買替えによる増
⑤	動物保護管理事業		5	5	0	
細事業合計			1,099	1,300	▲201	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	食品衛生・環境衛生 係
	私市 正利	安達博紀	安達博紀

事業区課	港南区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	高齢者元気応援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,669	0	0	0		1,669
令和3年度	1,989	0	0	0		1,989
増△減	△ 320	0	0	0	0	△ 320

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	1,709	2,660	2,015	1,669	1,669	1,669
市債+一般財源	1,709	2,660	2,015	1,669	1,669	1,669
決算	1,662	2,449	1,541			
市債+一般財源	1,662	2,449	1,541			

事業概要	<p>地域の関係団体や福祉・介護・医療に携わる多職種との連携を深め、認知症や介護予防、在宅医療の普及啓発を行い、高齢者が自分らしく安心して生活できる地域づくりを支援します。</p> <p>【認知症高齢者の理解と見守り強化事業】 幅広い世代の方に認知症の方への正しい理解と接し方を啓発するため、世界アルツハイマーデーに合わせ、港南区内を運行するバスに車内広告を掲載します。 認知症のため栄養状態や衛生状態が悪化した方を支援するため、既存の支援サービスでは対応できない当面の介護食や衣類などを用意し、緊急対応に備えます。</p> <p>【在宅医療と介護の連携支援事業】 医療と介護の多職種が運営する自主活動グループ医福ネットを研修企画等で支援し連携を深めていきます。 エンディングノートの啓発を推進するため、区主催の映画上映会・地域ケアプラザで開催される書き方講座等を実施することで、家族と話し合うきっかけづくりを進め、高齢者が自分らしく最期まで安心して生活できるよう支援します。</p> <p>【生活支援体制整備事業】 熱中症予防や地域交流促進のための「まちの給水所」を推進します。港南区社会福祉協議会と協力し、参加企業・事業所を増やすとともに、給水所の運営支援のため、給水ポッドの無償貸与等を行います。また、移動販売や給水所等の人が集う場所にベンチを配置し、屋外での日常的な集い・交流の場の創出を目的とした「まちの縁側」を推進します。</p>							
事業開始年度	平成16年度							
根拠法令・方針決裁等	介護保険法、横浜市介護予防普及啓発活動支援事業実施要綱、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画等							
運営方針等との関連	港南区政運営方針 施策2 見守り・支えあいのまちづくり 施策3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり							
事業目的・効果(必要性)	<p>港南区では、急速に高齢化が進み、令和3年3月末現在、高齢者数61,770人、高齢化率は28.8%と横浜市全体の24.7%を4%上回っています。</p> <p>認知症の方その家族が地域の良い環境で自分らしく暮らし続けるためには、認知症に関する正しい知識の普及を進め、社会の理解を深めることが不可欠です。また、症状が急激に悪化した方へ、迅速に支援できる体制が求められています。</p> <p>高齢者ができるだけ要介護状態にならず、地域でいきいきと自分らしく生活できるためには、地域住民、関係機関の連携をさらに進める必要があります。</p>							
根拠・データ等	横浜市統計ポータルサイト 年齢別人口(令和3年3月)、認知症高齢者等対策連絡会、区域協議体 令和元年度港南区区民意識調査							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
認知症高齢者等SOSネットワーク登録者	単位	目標	200	200	200	200	200	200
	人	実績	203	183				
在宅医療人材育成研修の受講者数	単位	目標	150	150	100	100	150	150
	人	実績	0.0	0.0				
住民主体による地域の活動把握数	単位	目標	800	800	800	800	800	800
	件	実績	840	701				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度：エンディングノート映画上映会(年1回)の開始(在宅医療と介護の連携支援事業)</li> <li>令和元年度：まちの給水所の開始(生活支援体制整備事業)</li> <li>令和2年度：アルツハイマーデーにおけるバス車内広告の掲載(認知症高齢者の理解と見守り強化事業)</li> <li>令和3年度：まちの縁側の開始(生活支援体制整備事業)</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	認知症高齢者の理解と見守り強化事業	739	659	80	介護食等購入による増
	②	在宅医療と介護の連携支援事業	630	830	▲ 200	映画上映会経費の見直しの減
	③	生活支援体制整備事業	300	500	▲ 200	サービスBちらし印刷終了等の減
細事業合計			1,669	1,989	▲ 320	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当
	大島 知行	吉原 祥子	係 吉原 祥子

事業区課	港区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	障害者いきいき生活応援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,530	0	0	0		1,530
令和3年度	1,530	0	0	0		1,530
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	予算	1,776	2,450	1,530	1,530	1,530
市債+一般財源	1,776	2,450	1,530	1,530	1,530	1,530
決算	1,529	2,271	1,337			
市債+一般財源	1,529	2,271	1,337			

事業概要	<p>障害のある方とご家族が地域で安心して生活できるよう、様々な支援を行うとともに、障害理解促進のための取り組みを行います。</p> <p>【精神保健福祉相談事業】 精神保健福祉にかかる普及啓発を図るため、ケアマネージャーや民生委員、地域ケアプラザ職員、地域住民等を対象に、地域ケアプラザにおいて連続講座を実施します。</p> <p>【青年学級事業】 軽度知的障害者が区民と触れ合いながら、仲間づくりや時間、話題を共有できる活動を支援します。</p> <p>【地域交流支援事業】 障害児者及びその保護者を対象とし、地域とのつながりを目的として実施する事業を支援します。</p> <p>【障害者施設販売促進事業】 障害者施設の自主製品販売促進の支援を通して、市民に対する障害理解啓発や当事者の社会参加機会の場を提供します。</p> <p>【課題等対応経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが一緒に楽しめるスポーツ（ボッチャ）のミニ大会を地域で開催し、障害者と地域との交流機会を提供します。</li> <li>区内事業所の紹介動画を制作し、区HPやYouTubeで配信して事業所のPRを行うとともに、地域との交流促進を図ります。</li> <li>障害者に対する理解向上を図るため、ポスター等による啓発の取組を実施します。</li> </ul>							
事業開始年度	平成15年度							
根拠法令・方針決裁等	身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、障害者総合支援法、港区青年学級補助金交付要綱、障害者施設自主製品販売促進事業補助金交付要綱、港区地域交流支援事業補助金交付要綱							
運営方針等との関連	【施策2】見守り・支えあいのまちづくり、【正確・丁寧な行政サービスの提供】							
事業目的・効果(必要性)	<p>障害のある方が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、区民の障害に対する理解が進んでいくことが必要不可欠となっています。そこで、障害についての理解が進むよう、子供から大人までそれぞれの理解に応じた啓発の取り組みを、工夫して行う必要があります。</p> <p>併せて障害者と地域住民との交流を深めることで、普段から何気なく見守りを行っていたら、災害時の避難にあたり協力を得ることが期待できます。</p> <p>障害者の通う事業所の自主製品の売り上げは、製品を作っている利用者のやりの向上に大きく寄与しているため、コロナ禍で販売の機会が失われている中で、販売方法の検討が求められています。</p>							
根拠・データ等	障害者関係団体、自立支援協議会でのニーズ調査、窓口相談、第4期横浜市障害者プラン、第4期港区福祉保健計画等							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
精神福祉出前講座	単位	目標	200	200	200	200	200	200
	人	実績	106	80				
青年学級事業	単位	目標	250	250	250	250	250	250
	人	実績	240	250				
地域交流支援事業	単位	目標			250	300	300	300
	人	実績						
事業スケジュール	<p>4月～：こうなん来夢区役所販売、事業所PR動画作成、障害理解啓発、青年学級、地域交流支援事業</p> <p>9月～：ボッチャ大会を通じた地域との交流</p> <p>10月～：精神保健福祉出前講座</p>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	精神保健福祉相談事業		200	200	0
②	青年学級事業		270	270	0	
③	地域交流支援事業		480	480	0	
④	障害者施設販売促進事業		100	100	0	
⑤	課題等対応経費		480	480	0	
	細事業合計		1,530	1,530	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	大島 知行	係長	酒井 絵美	障害者支援担当	酒井 絵美
--------------------	----	-------	----	-------	---------	-------